





2014.8 AUG

vol.73

九州を知る! マンスリーコラム…鄧

林芙美子

裕福な家庭の子女は別にして女学校進学が珍しかった大



最新情報を携帯からも

1903年~1951年 写真提供:新宿歴史博物館

花ノ命ハ短クテ。



によって「分身」は定着した。「下関のブリキ屋の二階で生ま る薄幸苦難をたくましく演じた森光子の舞台(菊田一夫作) 糊口をしのぐ「私」は自伝として読まれ、恋しては裏切られ 子(一九〇三~一九五一)が、その主人公と重ねて想像され 京した文学少女は八年後の昭和五年、ベストセラーとなる自 ができた「ナゼ」は後述するが、卒業と同時に恋人を追って上 従って転々する底辺で尾道高等女学校(広島県)に進むこと になる後輩の時代も変わりはなかった。行商の養父と母に る。村岡花子とは十歳の違いながらのちに親しく交わること るのは仕方のないことである。恋人に逃げられた東京暮ら 伝的小説によって女流作家として脚光を浴びることになる。 しの日記を下敷きに銭湯の下足番、カフェの女給と下層で - 私は宿命的な放浪者である」で始まる『放浪記』。林芙美

芙美子と女学校。「おそらく離別した実父の支援」と読み





桜 島 ●鹿児島県庁

所在地:鹿児島市古里町

外である。 も立証した。『放浪記』の作者は薄幸でなければならなかっ の地が、同じ「ブリキ屋の二階」でも門司・小森江だったこと 書いた記憶を含めて寵児となった女流の満帆は多く関心の ブームの追い風。殺到する依頼を一身に引き受けて書きに たのか。二十三歳で手にした幸せな結婚生活、戦後出版 み」でないことを知る門司の医師井上貞邦氏であった。出生

妬心による同業に対する不義理、毀誉褒貶への配慮であっ ことをした」と故人に代わって謝ったのはライバル意識や嫉 聞・雑誌の連載四本を未完にしたままの心臓発作であった。 る直筆詩稿が村岡花子の遺族宅で見つかったのは五年前。 た。好んで書いた〈花のいのちはみじかくて〉の原文とみられ 葬儀委員長の川端康成が「文学生命を保つため、時にひどい 〈苦しきことのみ多かれど/風も吹くなり/雲も光るなり〉。 人生の幕引きは雑誌の食べ歩き企画の取材を終えた夜。新

CONTENTS



















2 九州を知る! マンスリーコラム 39 花ノ命ハ短クテ。林 芙美子

トップに聞く!

Topinterview

お菓子は平和の文化一 黒田官兵衛の生き様を具現化した 最高峰のお菓子づくり。

株式会社 如水庵 森 恍次郎 氏

፫ 福岡銀行・圓

12 毎日使うものだから良い製品を。 やわらかく吸水性に富む 高品質なタオルをお届けします。

九州ツバメタオル 株式会社 重里 邦宏氏



- 18 誠心誠意、信頼される企業へ。 新しい価値を創造し、次代へと。 株式会社 日本冷熱 石川 淳一氏

◉ 親和銀行 ▲ ▮

- 28 FFGニュース
- 29 生活者アンケート
- 40 九州の逸品 鹿児島 しろくま
- 42 DATA in 九州 今月の注目データ
- 44 経済動向·経済指標
- 68 福岡県立修猷館高校ラグビー部主将 柴尾 將希



夏を代表する花、ヒマワリ (向日葵)はキク科の一年 草です。7月末、福岡市内 の県道56号線沿いの生 産直売所「ワッキー主基 の里」あたりは、ヒマワリ の花で黄色一色に染まり ます。和名の由来通り、太 陽の動きを追うように花 が動くため、太陽の方か らヒマワリ畑を眺めるとす べての花がこちらを向い ています。

字で表現してもらいまし

た。この取り組みは、家族の

とた活動を続けて参ります。 |様とのふれあいを大切に FFGでは、今後も地域の





模擬ポストに絵葉書を投函する園児 【バックナンバーのお知らせ】「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。 http://www.fukuoka-fg.com/

内の幼稚園で開催した「ふれ

お手伝いを目的としていま ふれあいやきずなづくりの

写真は、熊本銀行が熊本市

いレター体験」の様子です。

熊本市内214カ所の幼

園児たちが大好きな

家族

椎園・保育園にかもめ~る

はがき28,800枚を寄贈

、園児たちに両親や祖父 の感謝の思いを絵や文

「ふれあいレター体験」

高峰のお菓子づくり。 (田官兵衛の生き様を具現化した)菓子は平和の文化—

取引店/福岡銀行 博多駅前支店

森恍次郎氏代表取締役社長

TopInterview

株式会社 如水庵





▲古賀工房前(左から森社長、柴戸頭取)

水飴づくりが歴史のスタート 農業の副業で行っていた

餅菓子、焼き菓子等を製造し、ま に屋号を「榮松堂」とし、水飴 納める御供物調進所として代を た、落雁等の御紋菓を神社仏閣へ じまりのようです。江戸時代後期 を博多の街で売り歩いたことがは 江戸時代、農業のかたわら、水飴 重ねてきました。 創業は明確ではないのですが、

に嫁いできたばかりの母が、「加 伝えたところ快諾を得て、屋敷 菓子を作りたい」と、熱い思い あしらった、福岡の銘菓となるお 当主に「黒田家の家紋『藤巴』を と父は東京の黒田家を伺い、14代 てみては」と提案しました。祖父 五十二萬石』というお菓子を作っ 賀に百万石というお菓子がある。 成り立たなくなってきた頃、森家 仏閣への御供物だけでは商売が 福岡は五十二万石だから、『黒田 戦後、国家神道が廃され、神社

> 宮兵衛の赤合子 餅どら

官兵衛の赤合う

筑紫もち



年)に株式会社五十二萬石本 れ、商品名を取って、62年(昭和37

を設立しました。

があるかもしれませんが、 心は穏やかになります。少々無理 個、ぜんざい1杯を食べると、人の 動かされました。確かに饅 を平和にしたい」という言葉に心 が心安らぐ甘い水飴の力で日本 神武天皇の「武力ではなく、誰も でした。しかし、日本書紀にある、 めに働きたいと思っていたため、 ら貧困を無くし、世界平和のた することになりました。世の中か 学卒業と同時に社長として入社 ましたが、大学4年生の時に父が さい頃からよく手伝いをしてき 会社を継ぐ気は全くありません 亡くなり、70年(昭和45年)に、大 住み込みの社員に加わって、 「お菓 <u>育</u> 小

瓦

に保管されていた家紋入りの

を頂

いて帰ったのです。そして

取った「もなか 黒田五十二萬石」

951年(昭和26年)、瓦を型

を発売。この最中はとてもよく売

Toplnterview

株式会社 如水庵



子の力で世界平和に貢献した い!」と、会社を継ぐ決意をした

グループ4社体制で経営してい ン等を製造・販売する「味蔵」の 庵」と、明太子やもつ鍋、ラーメ 水庵原工房」、販売会社の 二萬石本舗」、洋菓子製造の「如 現在では、和菓子製造の「五 如 水

社員の心に火をつける 経営理念

唱和してから一日をスタートする という経営理念を定め、毎朝皆で 思いを込め、「お菓子は人々にくつ て研究と奉仕の両輪で躍進する」 る。その担い手としての誇りを持 る。お菓子は郷土文化の象徴であ ろぎを与えゆく平和の使者であ に火をつけるために私自身の熱い 経営理念の確立でした。社員の心 ち、おいしいお菓子の原点を求め 社長就任後、まず着手したのが



▲最高品種の小豆を独自製法で炊く

「もなか



▲最中の種に餡ともちを詰める工程







上は、10年後に10億円、20年後に

社長就任当時7千万円だった売 ようにしました。おかげさまで、

は20億円にまでなりました。

小さい頃から「黒田如水公のよ



献を!」 業員に成長と幸福を!社会に貢 お客様に喜びと感動を! 従 置き、次のように定めています。 の平和・文化・人間主義を念頭に 如水庵グループの理念は、如水公 ても過言ではありません。今日の の生き様を具現化したものと言っ のです。私の事業経営は、如水公 銘を受け、惚れ込んでいきまし 温かみのある人物だったことに感 等の文化に精通し、平和主義者で 来てから如水公についての書籍を 私は、実は坂本龍馬が好きでし 会社を「株式会社如水庵」とした 水公の名前を頂き、お菓子の販売 た。そして、89年(平成元年)、如 何十冊も読むうちに、彼が茶の湯 た。しかし、黒田家とのご縁が出 うに生きよ」と父に言われてきた

季節感あふれる 多種多様なお菓子

境の中から生まれました。当時は 砂糖の価格が高騰するという苦 卵等、素材にも気を配っています。 り、お菓子づくりに活用していま に負けない水が出来るようにな り、静電気を流したりして美味し べたご飯が感動するほど美味し もち」は、オイルショックの影響で の製法による塩、元気な鶏の有精 薬・減化学肥料の小豆、昔ながら お菓子づくりを基本とし、減農 す。また、安心・安全で健康に良い い水づくりを研究し、今では熊本 活性炭やイオン交換樹脂を使った の違いでした。そこで、製造工場で しくありませんでした。原因は水 で炊いてみたのですが、全然おい ます。以前、妻の実家の熊本で食 く、お米をもらって帰り、同じ方法 「水」へのこだわりを強く持ってい 美味しさを追求するため、特に 我が社を代表する銘菓「筑紫

> です。試行錯誤を重ね、完成した のアドバイスもあり、私が大好き 年連続でモンド・セレクション最高 の詩がきこえる「筑紫もち」は、7 通から2年後のことでした。万葉 て食べた黄粉もちが絶品だったの もちを火鉢で炙ってから熱湯に浸 ました。子どもの頃、前日についた な黄粉もちを作ろうと思い立ち を作るか思案していたところ、母 した。そこで、どのような新商品 とってチャンスの時期でもありま 75年(昭和50年)に博多駅の新 金賞を受賞し、年間1,500万 して黄粉をまぶし、黒砂糖をかけ は7年(昭和52年)、新幹線開 開通を控えており、我が社に





▲工場の見学風景



▲工場の見学風景



て美味しい海水いもで作った「とっ とーと。」も人気の商品です。 の「幸の風ふくおか」は、口溶けが どう・いよかん・トマト・栗・柿等、 通記念に開発した、宮崎産の甘く 品です。また、九州新幹線全線開 と味わえる、社内で一番人気の商 よく、小麦粉と卵の味をしっかり くおか」等、多数揃えています。こ 泡剤を使わないブッセ「幸の風ふ んだ「荒津の舞」や、乳化油脂の気 求肥で香り豊かな柚子あんをくる 各種涼菓、きめ細かく柔らかな 様々な季節の素材を使った大福や プも特色です。いちご・こもも・ぶ 岡にちなんだお菓子のラインナッ 子づくりを追求するとともに、福 また、日本の美、四季折々のお菓

ちとした食感が美味しいどら焼 水公の胃を型取ったトマトゼリー 兵衛」の放映を記念して、もちも ·官兵衛の赤合子~餅どら~」、如 最近では、大河ドラマ「軍師官

看 板 商 品

如水庵



供していきたいと考えています。 満足度の高い商品やサービスを提

夢は世界一の老舗―健康長寿

願っています。 続け、永続する企業でありたいと うとも、変わらぬ美味しさを作り 企業。どんなに困難な時代が来よ な黒字経営基盤を構築し、お客様 効率向上を図って安定的・継続的 プー丸となって、業務拡大やコスト て参ります。そのためにも、グルー 時代から続く伝統を後世に伝え 差したお菓子づくりに励み、江戸 今後も、これまで同様郷土に根

目指すのは世界一の老舗 伝統を次代に繋ぎながら、

開発しています。 かさと潤いを与えてくれます。 しいお菓子は、五感で楽しめ、 取った「シメオン・ジョスイ」なども ~」、洗礼名と隠居名を印章に型 官兵衛の赤合子~トマトゼリー このような色とりどりの美 味

◎インタビューを終えて



福岡銀行 取締役頭取 柴戸 隆成

江戸時代より続くお菓子づくりの中で生み出された[黒田五十二萬石]や 「筑紫もち」は、福岡を代表する銘菓です。貴社のお菓子を頬張った時に笑みが こぼれるのは、永年かけて開発されたお菓子が、原材料、特に「水」にこだわって 作られるからなのだと得心がいきました。

これからも、人の心を和ませる美味しいお菓子を通して、平和な世の中作りに 貢献し、世界一の老舗企業となられることを願っています。



トップ

に 聞

代表取締役社長 九州ツバメタオル 株式会社

重里 邦宏氏

取引店/熊本銀行 大江白川支店



伺っています。 入って熊本に拠点を構えたと 竹事業を立ち上げ、四日:

顕明治時代に大阪の泉州で 事業を立ち上げ、昭和に

りました。その後、1903年 とが我が社の歴史の幕開けとな 重里社長 と、手織機によるタオルの製造・販 を開始。12年(明治45年)になる 泉州で、綿布の染晒業を始めたこ (明治36年)に、綿布の製造・販売 祖父の重里喜介が大阪の1892年(明治25年)、

TopInterview 九州ツバメタオル 株式会社



先代社長の重里實 (現会長)から 設し、現在に至っています。なお、 東京事務所(東京都中央区)を開 区)、熊本支店(熊本市中央区)、 その後、熊本営業所(熊本市南

ます。 62年(昭和37年)、大阪でツバメ

昭和42年)には、熊本に工場を新

を我が社の創業元年と定めてい



成4年)のことです。 私がバトンを受けたのは92年(平

メ」の由来についても教えて下 御社のシンボルである「ツバ

は、社員が協力し合い、和をもって れをツバメの特性に重ね合わせ、 また、季節を違えず古巣へ番で しています。 企業活動に専念することを表現 また、社標でツバメを囲むリボン と、ツバメタオルと命名しました。 速・誠実に対応する企業であろう 顧客のニーズを的確に捉え、迅 飛来します。先代は、企業理念に 最中に昆虫を的確に捕捉します。 「迅速性」と「誠実性」を掲げ、そ ツバメは、敏捷に飛翔し、その

業のように中国進出はお考えに ならなかったのでしょうか? められているのですね。他の企 社名や社標には深い意味が込

> 質にも差があると思います。タオ て話しても、通訳は笑いながら相 です。国内の熊本に来ただけでも の末、進出は控えました。何をす 敗してしまいました。 国へ行きましたが、ほとんどが失 ル業界からもいくつかの企業が中 合いません。国産品と比べると品 のタオルを中国で生産しても割に を行うメーカーの場合、小ロット ました。それを見て、中国で事業を 手と話しているという場面があり 視察にも行きましたが、私が怒っ ます。進出を検討する中で、現地 苦労が絶えないのに、言葉が通じ るにせよ「通訳」の必要があるから 話は当然ありました。しかし熟考 行うのは難しいと判断しました。 ない中国での苦労は目に見えてい していく中、我が社にもそうした また、我が社のように受注生産 多くの製造業者が中国に進出

どのような状況なのでしょうか。 なるほど。今日のタオル業界は

TopInterview メタオル 株式会社







▲見学風景

90%を占めています。それぞれに

タオルが2大勢力で、国産品の約 ٨ 国 産品では、今治タオルと泉州

はどの様な点でしょうか。 また、その中にあって御社の特長

人の目で仕上がりを厳正にチェック

場の8%強を占め、残りが国産品 界は縮小しています。海外製品は 製品の増加により国内タオル業 うこともあり、繊維業界の中では 品種大量生産が難しい業態とい し、先にも述べましたように、同一 社にまで減少しています。しか ありましたが、現在は約140 に2,000社程度のメーカーが という状況です。多い時には国内 国、ベトナム等からの輸入品は市 半値で大量に流入しており、中 の業界がそうであるように、海外 大半を占めています。また、多く オルは、企業の販促品やギフトが 少なく、家庭で使用するようなタ タオルは自分で購入することが

晒染色

タオルを美しくする ために漂白・染色する

生き残れている方かもしれませ ます。

アピールするタグを付けて地 答品のタオルを「肥後もっこすタ オル」と名づけて、熊本県産品 レンジしています。たとえば、贈 また自社商品の開発にもチャ

ります。こうした実用性の高さが 製造工程が異なりますが、糸切れ 時間がかかりますが、化学物質を ことで不純物の除去に何倍もの リアを利用した製品もラインナッ が一般的ですが、我が社は、バクテ 優しいことも自慢です。後晒しの 我が社の特長です。また、環境に かく使いやすい製品が出来上が で、吸水性や通気性に優れた柔ら 不純物やノリ等を取り除くこと に漂白、水洗い(後晒し)を行い、 おくのが一般的です。我が社の源 織る前の糸にノリやロウを付けて の防止や滑りをよくするために、 敬遠されるお客様に支持されてい プしています。薬品を使用しない 工程には、化学薬品を利用するの 流である泉州タオルでは、製織後

床ずれ防止タオルマット



ベッド等に敷くことにより、床ずれを未然に 防ぐことができる介護用タオルマットです。

商品ポイント

- ●床ずれを防ぐ赤マークの制菌加工(特定 用途)を施しています
- ●天然コットンを使用した、柔らかく優し い肌触り
- 天然のノリを使用しているので、デリ -トな肌の方にも安心です

活用場所

病院、老人福祉施設、児童福祉施設、ご家庭 (自宅療養中の方)等





を防 た。制 平成23年度「熊本市ものづくり ずれの原因となる緑膿菌 た介護用・床ずれ防止マットで、 大賞」を受賞することが出来まし 床ずれ防止タオルマット」は 菌加工(特定用途)を施し の増 床 殖

ターとしてご利用いただいていま 徐々に広がり、多くの方にリピー だいており、受賞以来、口コミで 院・老人福祉施設でもご使用いた があります。ご家庭だけでなく ジャマを着たまま使用しても効果 安心してご利用いただけます。パ

夕

鶴 屋百貨店様等で販売してい

の

ます。 止タオルマット」が、 自社商品といえば、「床ず ħ

づくり大賞」を受賞されたそう 「熊本市もの

触りで、デリケートな肌の方にも しているため、柔らかく優しい 然コットン糸と天然のノリを使 ぐ効果があります。また、 肌 天 能で、

せください。 指す将来像などがあれ 後に、今後の抱負、御社が ばお聞 Ħ

場と考えており、より消費者に適 いと思っています。 たきめ 少し前までタオルは、 オル 細か 業界はこれ 11 販 売を目指 から 問屋に対 が 正 念

す。この「床ず 考えています。 ト」の販売に注力して行きたいと ħ 防 止 タオルマッ

りタオル」の拡販と短納期に対応 ぜひ企業アピール用のアイテムと 念行事・販促品として最適です。 できる体制の充実化にも、一 ては、小ロットの注文にも対応 す。オリジナルタオルの作成につ を入れていきたいと考えて してご用命ください。 す。名入りタオルは、企業の してきた企業の販促用の 方で、従来から事業の根幹 100枚から受け付けて 「名入 層力 13 可 ま

TopInterview 九州ツバメタオル 株式会社





▲重里社長

進を続けて参る所存です。 オルをお選びいただけるよう、

が溢れていますが、日本の消 の皆様に、品質に優れた日本製タ 市場には外国産の大量生 費者 産

魅力に見合った価格で店頭販 同時に付加価値を高め、 産」ということをアピールすると ため、今後は「日本製」「熊本県 でした。現在は、商品価値に応じ 売することができず、利益も僅か タオルでも重さ以上の価格で販 ていたため、たとえ高級感のある して重量 を拡大させていきたいと考えてい た販売が出来るようになってきた 一あたりの価格で販 商 品 売し

◎インタビューを終えて

熊本県への進出以来、50年近くにわたり堅実に事業を行い、地域に根ざして こられました。

重里社長の[毎日使うものだから良い製品を使っていただきたい]という 言葉に、モノづくりの基本を一途に貫く姿勢を感じることが出来ました。

これからも、高品質なタオルで、私たちの快適な日常生活を支え続けていた だき、貴社が益々発展されることを期待しております。



熊本銀行 取締役頭取 竹下



トップに聞く!

新しい価値を創造し、次代へと。誠心誠意、信頼される企業へ。

取引店/親和銀行 旭町支店

石川 淳一氏

代表取締役社長 日本冷熱



お聞かせください。

は順調に拡大していきました。

Topinterview

株式会社 日本冷熱



その1つが、FRP(強化プラス ウェーの会社と技術提携を結んで ならず、空調衛生設備、プラント 工事、FRP製品の製造販売のみ み出すよう、たゆまぬ研究開発を いる素材であり、優れた製品を生 ティック)製品の製造販売です。F の分野にも力を注いできました。 ますが、我が社はモス方式のタン PG船等の「超低温防熱工事」 G)を輸送するためのLNG船や 事件数が減少。他社との差別化 設備、水産設備、そして鉄工と住 続けています。 RPは様々な業界で注目を集めて ク防熱工事を行っており、ノル 方式(※1)の2つに大きく分かれ の形式は、モス方式とメンブレン を手掛け始めました。LNG船の 液化石油ガス(LPG)を運ぶL を図るため、液化天然ガス(LN 液化ガスなどを貯蔵するタンク それと並行して、造船関係以外 また現在では、保温・保冷・防熱 その後に訪れた造船不況で工

NIPPON REINETSU

▲本社工場前(左から石川社長、吉澤頭取)

宅環境設備の7つの事業を展開

※1)モス方式…球形独立タンク方式と 付けるタイプ ク。タンクの内側に防熱材を取り 取り付けるタイプ も言う。タンクの外側に防熱材を メンブレン方式…多角形のタン

され、明確な企業コンセプトを お持ちのようですね。 石川社長は、昨年社長に就任

改革にも取り組んでおります。 化を着実に進めつつ、企業風土の 応していくため、企業基盤、財務 客様と接してまいりました。近 本として「誠心誠意」の姿勢でお 立以来、社是である「誠実」を基 体質、リスクマネージメントの強 進む社会状況にスピーディーに対 年、時代の変化やグローバル化が 我が社は、この長崎の地での設

> これを今後も尊重していきます。 品やサービスを提供していく所 存です。 かつ柔軟に対応し、革新的な製 員一同がお客様のニーズに迅速 ありえません。企業の顔である社 人の成長無くして企業の成長は 企業は人なり」がありますが、 また、創業から変わらぬ理念

て下さい。 ですね。御社の強みについて教え 社会に誇れる優れた部分が必要 百年企業」になるためには、

差に耐えうる構造になっていま 保つ魔法瓶の様なタンクを備え と予想されるLNGを運ぶLNG す。その最も重要な生命線となる 持ち、超低温や空荷の時との温度 船は、マイナス162度の温度を 今後ますます需要が伸びてくる 中でもクリーンエネルギーとして 工事を得意としていることです。 熱」の名の如く、保温・保冷・防熱 最大の強みは、社名の「日本冷

にくい企業」を目指しています。

す。百年先にも事業を継続してい いるのは「百年企業」への挑戦で

このような中、私がまず期して

くため、「儲かる企業よりもつぶれ



冷 の を 展 開 本 の



株式会社 日本冷熱



豊富なノウハウを活かした最 高い技術力が要求されます。我が 環境、最適温度をクリエイトして があり、経験豊かなエンジニアと 社は、過去30年以上に亘る実績 適

熱工

事は、厳

でしい品

質 管理

ح

とを強みに、特殊工事の施工を得 覆蓋、プール、スライダー等多種 電用の風車カバーを始め、ポン りしない、成形が自由にできる、透 は軽くて強く、錆びたり腐蝕した 意分野としています。特に水産設 多様な製品を製造してきました。 ツーン(浮き桟橋)、下水処理場の 活かし、40年以上に亘り、風力発 など、豊富なメリットを持った素 るFRP (強化プラスティック)の 材です。我が社ではこのメリットを 光性・電波透過性や電気絶縁 していることも特徴です。FRP 大型専門工場を熊本の天草に有 それから、九州有数の敷地を誇 家資格技術者を有しているこ また空調衛生設備、プラント設 、水産設備においては、多数の 性

> り、 パールシー水族館、長崎県総合水 特殊工事を手掛けてきました。 魚まで育てる完全養殖設備等 るクロマグロの採卵から孵化、養 昨今では国の施設で注目されてい 産試験場、長崎大学水産研究所、 装置までを幅広く取り扱ってお ズに合わせて大規模な水産施設 社の誇れる事業の一つです。ニー は20数年来の実績があり、我が 長崎ペンギン水族館、佐世保

るばかりです。近年は事業拡大の ための動きも活発なようですね。 素晴らしい技術力に驚かされ

ず、関・ 規顧客の開拓を促進させ、需要に 行っています。これは九州に限ら 社の担当者ベースで情報交換を 広島)との連携強化を図って、3 た今年からグループ会社(大阪 東京営業所を開設しました。ま ため、2011年(平成23年)に 応するための取り組みです。毎 我が社では、受注の幅を広げる 東、関西、中国、四国での

注目の素材 FRPとは?

対

Fiber Reinforced Plastics(強化プラスティック)の略で、 プラスティック(合成樹脂)にガラス繊維などを加え 強度を向上させた複合素材のこと。



- ●軽くて強い
- ●透光性や電波透過性がある 錆びたり腐食したりしない ●電気絶縁性がある

大型物件の実績・事例

- デザインや成形が自由にできる

▲FRP専用工場を天草に完備



▲プール





年新規のお客様を増やすことも、 企業の成長だと思っています。

を注いでいます。 ば、地元の大学と連携して、異な 携の可能性も探っています。例え 自社製品や独自工法の開発に力 る分野からの発想を取り入れた 連携という方向性では、産学連

いくつもりです。 ながら企業活性化にも役立てて でいます。たとえ不況下において があり、この野球部が勝ち取った 立時から続いている軟式野球部 織の枠を超えた社員の和を図り もこの軟式野球部を存続させ、組 大会のトロフィーがいくつも並ん 我が社の自慢の一つに会社 設

かせください。 最後に将来展望についてお聞

業が海外への進出を果たす時代 た会社で海外駐在の経験があり、 にあっても、私自身、以前勤めてい 「離れて分かる日本の良さ」を実 グローバル化によって多くの企

> いります。 ただけるように、努力を続けてま ような仕事」とお客様に言ってい 夫」、「日本冷熱、しか、できない す。それは「日本冷熱、なら、大丈 ら」「しか」の経営を行うことで す。目指すのは、地域において「な リアは日本、そして拠点は長崎で 図っていきます。我が社の事業エ 社は日本国内で事業の強化 いと認識しています。まずは我が 利益にならない事業は成功しな 感した上で、海外進出はその国

す。 プに繋げていきたいと思っていま と育成し、我が社のステップアッ 財産であり、更に価値ある財産へ くことも目標です。社員は企業の 財」と言えるような企業にしてい また、社員を「人材」でなく「人

してまいります。 る企業であることを目標に努力 し、その上で、社会から信頼され 地域社会と産業界の発展に貢献 て、新しい価値を創造していき、 今後も、あらゆる事業におい



▲見学風景



会社設立から続く伝統の軟式野球部



▲ユニフォームに身を包み全力投球

▲石川社長

事業所ネットワー 本社工場 三菱長船事業所 本社 天草工場 日本冷熱工業(株) ※グループ会社



▲本社工場(諫早)

TopInterview 株式会社 日本冷熱



▲本社工場前(前列左から5番目より、野田監査役、江川取締役、成田取締役、石川社長、吉澤頭取、荒金支店長(親和銀行))

◎インタビューを終えて

現在、LNGは最も注目を集めているエネルギーの一つであり、その運搬に かかる防熱工事の一役を貴社が担っています。

また、今後成長が期待されるFRP製品の製造にも注力する等、時代の変化を 的確に捉え、事業を拡大してこられました。

これからも新しい価値を創造し、地域社会と産業界の発展に大きく貢献して いかれることを期待いたします。



取締役頭取 吉澤 俊介





株式会社 如水庵

伝統を脈々と受け継ぎながら、安心・安全で健康に良いお菓子を作り続け ています。如水庵といえば「筑紫もち」や「とっとーと。」とよく言われますが、 最近では、社名の由来となった、現在のNHK大河ドラマ主人公である「黒田 官兵衛(如水)」にちなんだお菓子や、季節感を感じることができるお菓子 など、様々な商品を取り揃えています。ぜひ一度ご賞味下さい。 お菓子は平和の文化。微力ながら社会の平和のお役に立てるよう、これ からも精進して参ります。

明治35年頃の写真。お菓子作りの研究団体「十二会」で世話役をしていた曾祖父・森





- 立:1989年
- ■所 在 地:福岡市博多区
- ■資本金:1,000万円
- ■従業員:

230名(グループ全従業員364名)

如水海

■事業内容:

和洋菓子の製造・販売、食品卸小売業

■事業拠点:

(本社、店舗)福岡市博多区 (工場、店舗)福岡県古賀市

(店舗)福岡市東区、南区、城南 区、早良区、西区、福岡県糟屋郡、大野 城市、筑紫野市、福津市、宗像市、久留 米市、北九州市戸畑区、宮崎県延岡市

■関連会社:

株式会社五十二萬石本舗 株式会社如水庵原工房、株式会社味蔵

■取引店: / 福岡銀行 / 順 博多駅前支店 092-441-3821



九州ツバメタオル 株式会社

創業以来、シンボルマークのツバメのように、迅速かつ的確にお客様の ニーズに応えるとともに、誠実に高品質なタオルを製造・販売してきました。 最近では、我が社が開発した「床ずれ防止タオルマット」が平成23年度 「熊本市ものづくり大賞」を受賞するなど、高い評価をいただいています。 今後も、高品質で安心してご利用いただける熊本県産のタオルを作り続け、 皆様にお選びいただけるよう、努力を続けて参ります。





▲床ずれ防止タオルマット

業:1912年

立:1962年

■所 在 地:熊本県下益城郡

■資本金:2,000万円

■従業員:43名

■事業内容:タオル製造販売業

■事業拠点:

(本社)熊本県下益城郡 (支店・営業所)熊本市南区

> 熊本市中央区 大阪府泉佐野市 東京都中央区

■取引店: // 熊本銀行 🌉 大江白川支店 096-371-6000



株式会社 日本冷熱

保温・保冷・防熱工事を中心に、FRP(強化プラスチック)製品の製造販売、 空調衛生設備、プラント設備、水産設備、そして鉄工と住宅環境設備の7つ の事業を展開しています。

我が社は、1966年の設立以来、社是である「誠実」を基本とし、誠心誠意、 お客様と接して参りました。これからも、新たな価値を創造し、地域社会と 産業界の発展に貢献したいと考えています。その上で、地域社会との調和を 大切にし、社会から信頼される企業であることを目標に努力して参ります。





▲CADで施工図面を作成

業:1940年

立:1966年

■所 在 地:長崎県長崎市

■資本金:8,000万円

■従業員:100名

■事業内容:保温・保冷・防熱工事、 FRP(強化プラスティック)製品の製 造・販売、空調衛生設備、プラント設 備、水産設備、鉄工、住宅環境設備

■事業拠点:

(本社)長崎県長崎市 (本社工場)長崎県諫早市

(工場)長崎県長崎市

熊本県上天草市

(営業所)長崎県長崎市、西海市、 佐賀県伊万里市、東京都新宿区

■取引店: 3 親和銀行 🔊 旭町支店

095-861-5235

恩パーティー

新会長・新社長に就任いたしました。今回は、「会長・頭取就任披露謝恩パーティー」の様子をお伝えいたします。 平成26年6月27日、 谷正明、 柴戸隆成が福岡銀行の新会長・ 新頭取に就任するとともに、ふくおかフィナンシャルグループの



▲頭取挨拶



▲名刺交換の様子

ります。



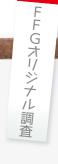
▲パーティーの全景

ニーズも絶えず変化している。 に進化する企業でありたい。そ ず、時代の変化を見据えて、常 期待や信頼に応えられるよう、 このような環境の中、皆様方の て速く、マーケット、お客様の 化により変化のスピードが極め 報通信技術の進展やグローバル の一方で、変化の激しい時代に 新しいことへのチャレンジを怠ら いても、福岡銀行が創 柴戸頭取は「現代の社会は情 業

のお客様をお招きし、「会長・頭 開催いたしました。 場において、合計約3,600名 取就任披露謝恩パーティー」を 平成26年7月、福岡県内4会

ます。 てきたお客様との信頼関係と には、数多くのご祝辞と激励を 130年余り、永々と築き上げ 頂戴し、心より御礼申し上げ ありたい」と決意を述べました。 いう財産は大切にする企業で ご来場いただいたお客様方

り続けるために、努力をして参 のもと、お客様にとっていちばん ます。この言葉を胸に、新体制 ブランドスローガンに掲げてい 以来、「あなたのいちばんに。」を 身近で、いちばん頼りになり、そ していちばん先を行く銀行であ FFGは、平成19年の設立





第十回 生活者アンケー

一般消費者を対象とした「生活者 アンケート(2014年6~7月実施)」 を基に、「身近な出来事」に対する 意識についてレポートします。



意識調査

『消費税増税の影響』 『飲み会に関する意識調査』

鹿児島

は じめ ات

引き上げが実施されました。 平成26年4月1日、消費税率の

関する意識」についても概要をご ンケート調査を行いましたので、 崎県・熊本県在住の方を中心にア 増税の影響」について、福岡県・長 紹介します。 また、併せて調査した「飲み会に その結果の概要をご紹介します。 者アンケート」を実施し、「消費税 では、第4回目となる「FFG生活 FFGビジネスコンサルティング

[調査概要]

調査対象:一般消費者の方497人 (男性243人)

調査時期:平成26年6~7月 女性254人)

:福岡銀行、熊本銀行、 親和銀行のホームページ上

調査方法

でのインターネット調査

消費税増税の影響

調査結果の概要

1 込み購入が多く見られた。財布等の身の回り品」等で駆け 「自動車・オートバイ」、「かばん、

2.消費財について、「日用品」をは 見られた。 類]等でも駆け込み購入が多く じめ、「食料品」「酒類」「化粧品

3. 消費税増税後の支出に対する の項目と比較して多くなった。 意識の変化について、「外食」 「小幅に低下」が3割を超え、他 「衣料品」「家具・家電」で「低下」

4.消費税増税後の物価に対する が「増税分(3%)以上に上昇」 全体的な印象について、過半数 していると回答した。

5.消費税増税による電子マネー ている」という回答が3割程度 の利用頻度の変化について、 を占めた。 になった」「今後の利用を検討し **「増えた」「増税後利用するよう**

耐久財について、「家具・家電」や

尋ねたところ、耐久財については、

消費税増税前の駆け込み購入を

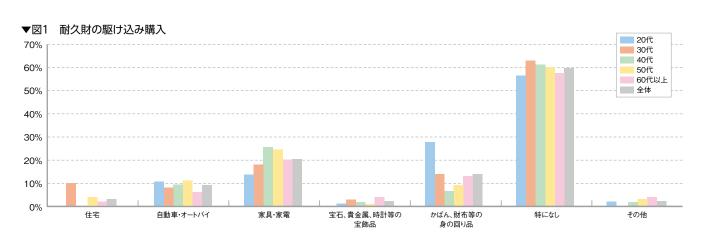
「自動車・オートバイ」や「家具・家

1割と2割程度)が見られました。 電」で一定の駆け込み購入(それぞれ

りました。(図1 代と比べて突出して多い結果とな また、「かばん、財布等の身の回り 品」では20代が27・7%と、他の年

した。(図2) 購入が多くなる傾向が見られま なりました。「飲食料品」「酒類 駆け込み購入が多く、4割程度と パー等の日用品」は年代に関わらず 込み購入が見られ、「飲食料品 は年代が上がるにつれて、駆け込み 「化粧品類」でも2割程度の駆け 「化粧品類」は20~30代で、「酒類 消費財では、「トイレットペー

問1 耐久財・消費財を駆け込みで 消費税増税前にどのような 購入しましたか?(複数回答)



品類、保健医療(医薬品等含む) 娯楽(趣味)、日用品、水道・光熱費 、通信費)

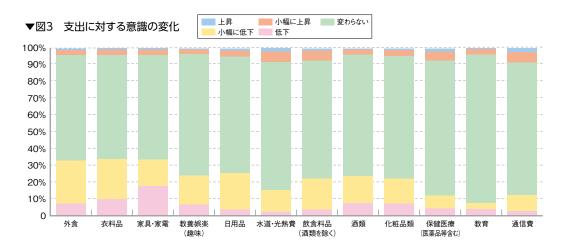
消

費税増税後の支出に対する

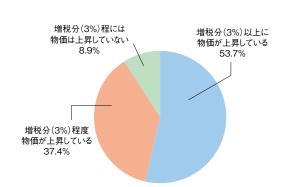
必要な支出は継続しつつ、不要 料品」「家具・家電」で「低下」「 らない」が6割以上を占めました。 意識の変化は、全ての項目で「変わ 窺えます。(図3) 急の支出を控えようとする姿勢が 下」が1割内外にとどまっており、 方で、「保健医療(医薬品等含む) 幅に低下」が3割を超えました。 教育」「通信費」は「(小幅に) 項目ごとに見ると、「外食」「衣

飲食料品(酒類除く)、酒類、化粧 変化しましたか? 支出に対する意識はどのように 消費税増税後、以下の項目への (外食、衣料品、家具・家電、教養

問2



▼図4 物価に対する印象

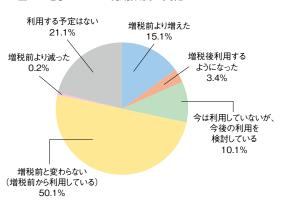


価格の改定に動いたこと等が影 値上がり分を販売価格に転嫁でき ずにいた企業が、増税を機に販 している」との回答が53・7%を占 体的な印象について尋ねたところ、 したと考えられます。(図4) -増税分(3%)以上に物価が上昇 ました。デフレ下で原材料 消費財増税後の物価に対する全 .費の 売 響

全体的な印象は?消費税増税後の物価に対する

問3

電子マネーの利用頻度の変化 ▼図5



ていく傾向が見て取れます。 マネー 今後の利用を検討している」 3.4% 利 討する)と回答しています。(図5) 10:1%となり、約3割の人が電子 増税後利用するようになった」が 増税前より増えた」が15・1%、 今後、電子マネー市場が拡大し 用 消 頻度について尋ねたところ、 費税増税後の電子マネー ・の利用が増えた(利用を検 「今は利用していないが、 0

- 5 4 **・飲み会の頻度・時間について、** 加し、50代で42・9%、60代以上 店」は年代が上がるにつれ増 59.0%を占めた。「和食料理 ついて、全体では「居酒屋」が で45.5%を占めた。
- 飲み会の予算について、一次会は 未満」が最も多く、二次会は 向となった。 ほど頻度が高く、時間が長い傾 「3,000円未満」が最多と 「3,000円以上5,000円 | 次会、二次会ともに若い年代

6

なった。

み会に関する 識 調

調査概要

1

問4

増税後、電子マネーの利用は 1円単位の支払いが増えましたが.

消費税増税により

増えましたか?

店選びの基準について、「味」や は、若い年代と60代以上の特徴 として見られた。 「価格」を重視する回答が多い |価格||を重視するという回答

8

- 2.飲み会を行うエリアは、「天神 地区」が4割程度、「博多駅地 区」が2割強を占めている。
- 3 びの基準は、福岡県内居住者 29.6%で最多となった。 では「味」が56・7%を占めた。 「中洲地区」を選んだ人の店選 方、県外居住者では「場所.
- 飲み会を行う店のジャンルに
- 11 10 54 するかについて、予定が空いて ΙΞ 部下を飲みに誘うかについて、 る」(26.8%)が大半を占めた。 が好きか嫌いかによって決め いれば行く](55·1%)や「上司 「必ず誘う」「よく誘う」は1割 · 3%を占めた。 満たず、「たまに誘う」が

7 司•部下」は15:1%にとどま 49 多くないことが窺えた。 り、仕事上の飲み会がそれほど かについて、「友人(同性)」が ・7%、「家族」が40・0%、「同 **」が33·4%となった|方、「上**

飲み会の店を選ぶ基準につい

7

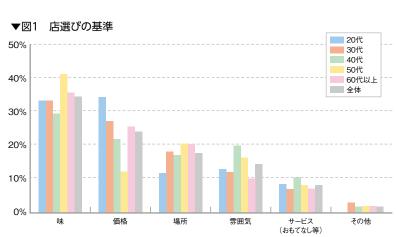
- が多く、二次会は「知人の紹介」 ンターネット」「知人の紹介」 飲み会の店の決め方について、 「行きつけの店」 に回答が集中 「行きつけの店」で決める割合 次会は「フリーペーパー」「イ
- 30分」以前の回答が多く、早 が、50代、60代以上では「18時 に開始することが分かった。 「19時」が全体の33·6%を占めた 飲み会の開始時刻について、 ぉ

9

上司に飲みに誘われたらどう

- 誰と飲みに行くことが多

高年 を重 ことが出来ます。(図1) が 34・2 % で 最も 多く、次いで 「 価格 尋ねたところ、全体では「味」 23.9%を占めました。 代 |視する回答は、若い年代と (6代以上)の特徴と見 価格 が



問1

基準は何ですか?飲み会をするとき、店を選ぶ

問2 どのエリアに行くことが 多いですか?(複数回答) 福岡市内で飲み会を行うとしたら、

問

1と問2を併せて、「店選び

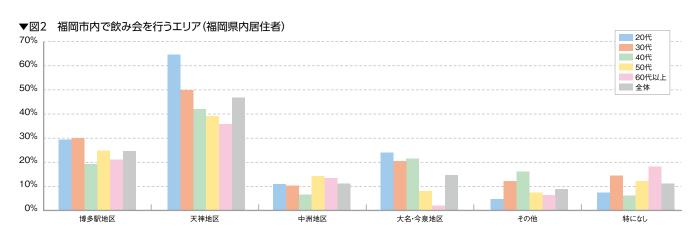
く、それぞれ4割程度と2割強を どのエリアに行くか尋ねたところ、 占めており、「天神地区」は20代が 突出して多くなっています。 「天神地区」と「博多駅地区」が多 福岡市内で飲み会をする場合に

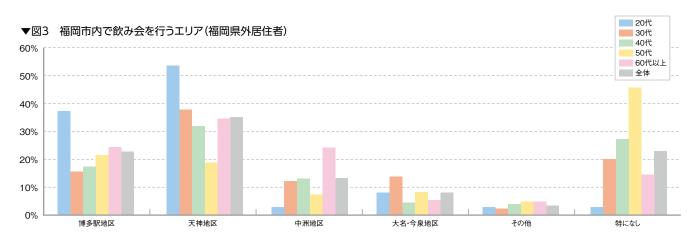
なっています。(図2・3) 年代の倍程度 区」は、県外居住の60代以上が他の 多くなっています。また、「中洲地 20代が37・5%と他の年代と比べて ると、「博多駅地区」は、県外居住の 居住地を福岡県内・外に分けて見 (24・4%)と高

が上がると専門店の多い「中洲 区」を選ぶ傾向があるようです。

馴染み深い「天神地区」を選び、年代

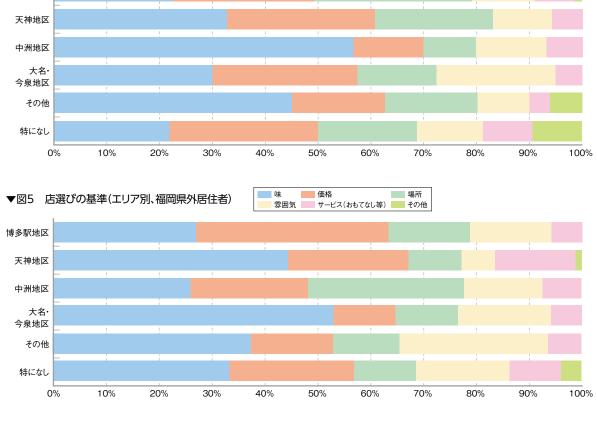
若者は普段のショッピング等で





52.9%となりました。(図4.5) また、「大名・今泉地区」では、 県 外 居住 者では「味」が

対 者が他エリアと比べて多いのに えられます。 メージ)を求める傾向があると考 洲という「名」(=飲食店のイ 県外居 で店を選ぶ人が56.7%を占めま で特徴が見られます。 の基準(エリア別)」を見てみると、 居住者は中洲で飲むことに「実」 した。一方、「中洲地区」を選んだ 区」を選んだ県内居住者は 福岡県内居住者と、県外居住者 (29・6%)となっています。県内 雰囲気」を重視する県内居住 味)を求め、県外居住者は中 住者は「場所」 中洲 が最多 味 地



ます。

方で、「和食料理店」は年代

様々な種類の料理を気軽に楽しめ ることが人気の理由だと考えられ

なっています。(図6)

は「居酒屋」とほぼ同等の割合と 50代(42.9%)、60代以上(45.5%) が上がるにつれて上昇しており、 味

雰囲気

▼図4 店選びの基準(エリア別、福岡県内居住者)

博多駅地区

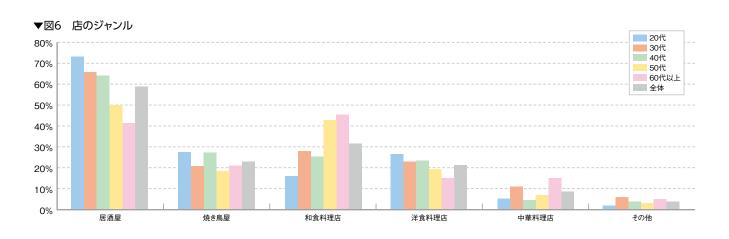
価格

サービス(おもてなし等)

場所

その他

問3 慮すると、リーズナブルな価格で 回答が多くあった(図1)ことを考 は年代が下がるにつれて上昇して 多いか尋ねたところ、「居酒屋 (59.0%)が最多となり、その割合 「味」や「価格」を重視するという ます。問1で、店選びの際に どのジャンルの店に行くことが 多いですか?(複数回答)どのジャンルの店に行くことが



予算については、一次会は50代、

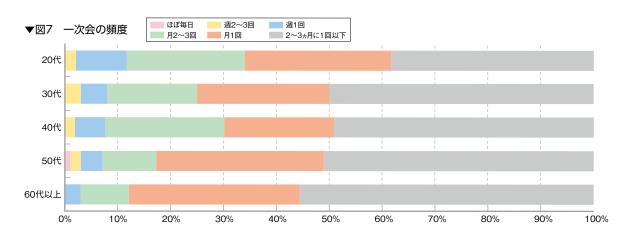
問4

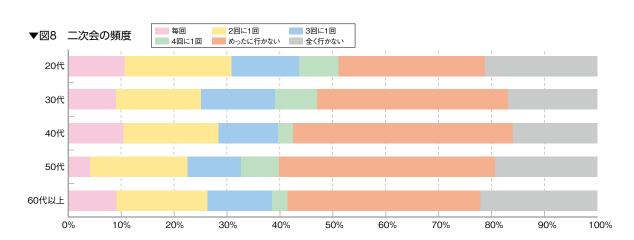
4割程度の人が「4回に1回 のギャップはそれ程大きくなく、 は、20代で34・0%を占め、60代以 れ、「月2~3回」以上という回答 ほど頻度が高くなる傾向が見ら 以上は二次会に参加しています。 ます。一方で、二次会では年代間 上 (12:1%)の3倍近くに上り ところ、一次会では、年代が下がる (図 7·8) 次会、二次会の頻度を尋ねた

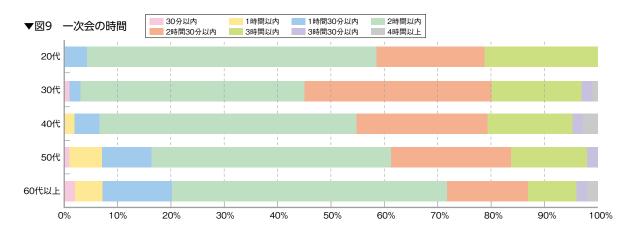
れました。(図9・10) を占め、60代(31・9%)の倍以上 以内」を越える回答が72.9% となり、世代間で大きな差が見ら いという結果となりました。また、 傾向があり、一次会では30代で ともに年代が下がるほど長くなる 0%を占め、他の年代と比べて長 |次会では、20代で「1時間30分 「2時間以内」を越える回答が55 時間については、一次会、二次会

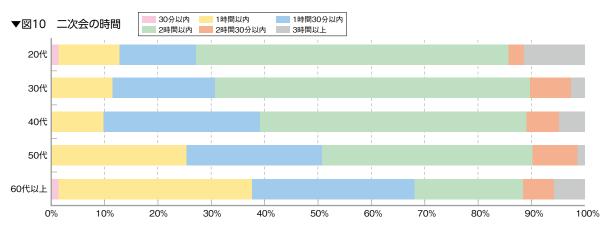
> が見られます。二次会は、20代で 17・2%) 予算が高くなる傾向 が他の年代と比べて多く(25.5% 60代以上で「5,000円以上」 行う傾向が見られます。(図11・12) 突出しており、低予算で二次会を 3,000円未満」が67:1%と

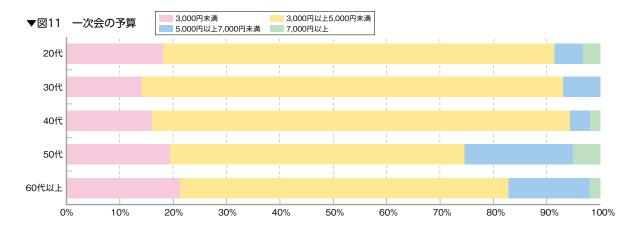


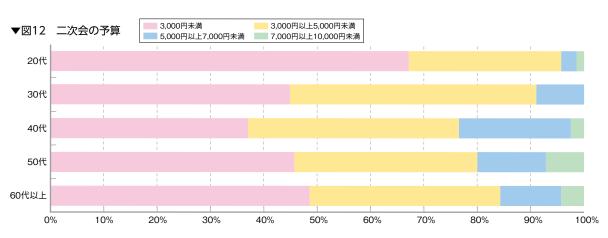










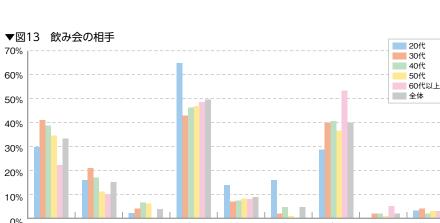


多いですか?(複数回答)

問5

と比べて「友人(同性)」が多くな となりました。20代は他の年代 なっています。 なっています。また、00代以上は ところ、全体では、「友人(同性)_ る一方、「同僚」「家族」が少なく 「同僚」が少なく、「家族」が多く 「同僚」(33・4%)の順で多い結果 (49.7%)、「家族」 (40.0%)、 飲みに行く相手について尋ねた

いことが窺えます。(図13 ミュニケーション)があまり多くな 答は少なく、仕事上の飲み会(飲 全体的に「上司・部下」という回



どのようにして決めることが 次会、二次会の店は 0% 同僚 上司·部下 取引先の方 友人 (同性) 友人 (異性) 恋人 家族 近所の人 特になし 図 14

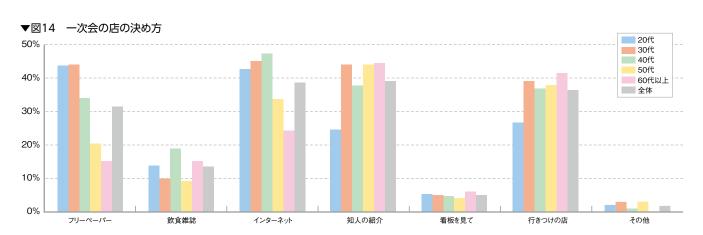
ほど「フリーペーパー」「インター ねたところ、一次会では、若い年代 飲み会の店の決め方について尋 問6

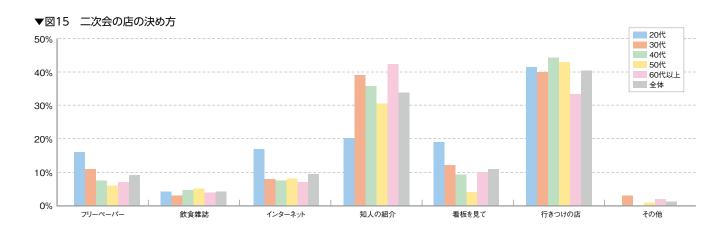
多いですか?(複数回答)

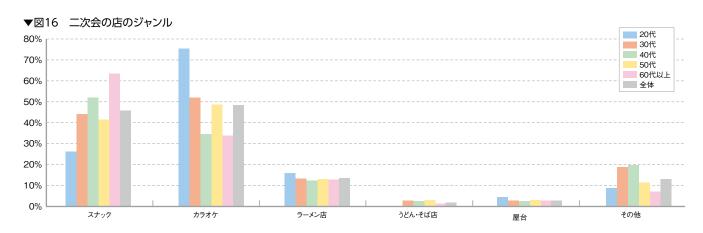
考えられます。(図16

は「知人の紹介」や「行きつけの ネット」に頼る傾向があり、高年代 店」に頼る傾向があるようです。

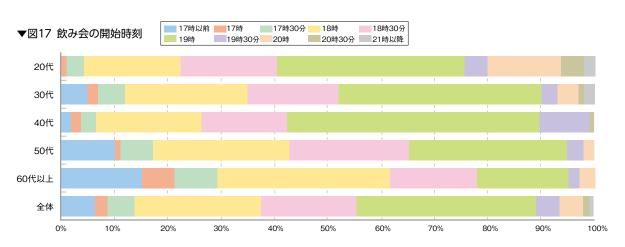
の店」である「スナック」や「カラオ パー」や「インターネット」「飲食雑 果となりました。(図15) ケ」が多いこと等が影響していると ないことや、二次会の店が「いつも なるようです。ラフな飲み会では は10・9%まで増加しており、二次 いた「看板を見て」が、二次会で 誌」といった下調べ用のツール 次会の店の決め方は、「フリーペー リーペーパー」等の依存度が低い結 きつけの店」が大半を占め、 会では一見で店に入ることも多く 一次会まで予約しておくことが少 次会では5.0%にとどまって 二次会では、「知人の紹介」「行 依存度が低下しています。また、 次会と二次会を比べると、二







17 遅くなる傾向があるようです。(図 若い年代ほど飲み会の開始時刻が 以降が24・5%を占めており、概ね ます。また、20代では「19時30分」 らのスタートとなることが分かり 3%、77.8%)を占め、早い時間か では「18時30分」以前が多数(65 多くなったものの、50代、60代以上 たところ、「19時」(33.6%)が最も 飲み会の開始時刻について尋ね



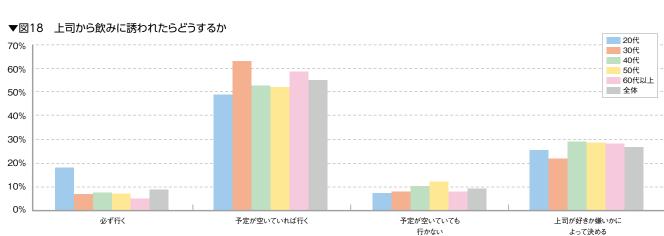
問刀

多いですか?

どうしますか? 「会社勤めをしていたら」として) (会社勤め以外の方は 上司から飲みに誘われたら

問8

ば行く」(55・1%)や「上司が好き るか尋ねたところ、「必ず行く」の 図 18 では「必ず行く」が他の年代を大き が大半を占めました。一方、20代 8・9%に対し、「予定が空いていれ か嫌いかによって決める」(26・8%) く上回る18・1%に上りました。 仕事とプライベートの区別を 上司に飲みに誘われたらどうす



はっきりとつけている傾向がある一

とが分かります。

まで付き合う若者も相当数いるこ 内」と、プライベートを犠牲にして 方で、「上司との飲み会も仕事の

問9

部下を飲みに誘いますか? (部下のいる方のみ)

またね

ることが出来ます。 と部下の微妙な間合いを垣間見 には付き合う部下」という、上司 から飲みに誘われたら、予定が空 54.3%を占めました。(図19) 1割に満たず、「たまに誘う」が ころ、「必ず誘う」「よく誘う」は いていれば行く」と回答しており、 「頻繁には誘わない上司」と「たま 問8では、部下の多くが「上司 部下を飲みに誘うか尋ねたと

20代 30代 40代 部下を飲みに誘うか ▼図19 70% 50代 60代以上 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0% よく誘う 必ず誘う たまに誘う 誘わない

(大仲 陽介



フードとなっています。 コンピニのアイスポックスにある氷菓コンピニのアイスポックスにあります。 サみつ豆などで飾り付けた「しろくま」がが、そのルーツは鹿児島にあります。 中47年喫茶店「むじゃき」がフルーツ 神乳をかけたかき氷を売り始め、 神乳をかけたかき氷を売り始め、 神乳をかけたかき氷を売り始め、 では多くの飲食店で独自の「しろくま」 が出現しました。今や鹿児島にあります。 コンピニのアイスポックスにある氷菓

F共地 F生域 Gaと 「しろくま」を食べにおいゃったもんせっ

ミルキーな甘さがたまらない本場の



九州の身近なデータを ワンポイント解説する コーナーです。

今月の注目データ

今月は「提灯の生産額」と「お茶の生産量」です。









お茶の生産量





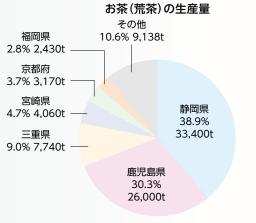
こ お茶の生産量

お茶の生産量は、統計データでは、茶葉を1次加工(熱処理)した「荒茶」という品目で 公表されています。その「荒茶」の生産量は、鹿児島県が静岡県に次いで全国2位(国内 シェア約30%)となっています。

鹿児島県の茶業は、今からおよそ800年前に平家の落人により伝えられたとされ、島津藩政 時代の奨励により県内各地に広まったと言われています。近年では、平坦な茶園が多いこと から、乗用型茶摘み機(※)等の機械化が進み、生産が拡大しました。

鹿児島県産のブランド茶「ゆたかみどり」はその名の通り濃い緑色が特徴で、一口含むと 香ばしさが広がり、後からほのかな甘みを感じる逸品です。

※乗用型茶摘み機:茶畑の畝に沿って走り、内部の回転刃やバリカンで茶を刈って送風機で後部の収納装置に集める機械。



(出所:農林水産省「平成24年作物統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)





提灯の生産額

お盆に先祖を迎える提灯は、約4割が福岡県で生産されています(全国2位)。特に生産 が盛んな八女地区は、19世紀後半、八女手漉き紙(薄紙)に山水、草木、花鳥などの彩色画 を描写した情緒豊かな盆提灯が涼み提灯として名声を博し、一大産地となりました。

八女提灯の製造は、工程ごとに独立した専門の職人が担当しています。火袋(※)の製作 は「張り師」、絵付けは「絵師」、漆の塗りは「塗り師」といった具合です。こうして作ら れた部品が、最後に全体の流れを管理する「提灯屋」に集められ、仕上げられます。

全国で先祖の供養に用いられる八女提灯は、平成13年、経済産業省から「日本の伝統的工 芸品」に指定されています。

※火袋:紙で覆われた、伸縮するボディ部分 提灯の生産額 その他 10.8% 9.5億円 愛知県 3.1% 2.7億円 茨城県 3.1% 2.8億円 岐阜県 44.5% 39.0億円 福岡県 38.5% 33.8億円

(出所:総務省「平成24年経済センサス-活動調査 | を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 |緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られるものの、緩やかな持ち直しの動きが続 いています。

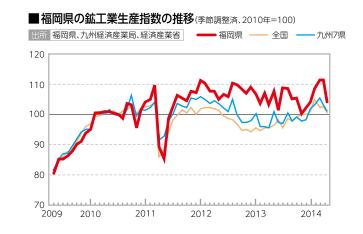
生産は、消費税増税前の駆け込み需要対応が一服し、輸送機械や食料品が低下しています。個人消費は、一 部に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られますが、大型小売店販売額は前年並みに回復する等、持 ち直しの動きが続いています。住宅建設は、消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られ、着工数は減少 しています。

(森山 裕司)

緩やかな持ち直しの動きが続いている 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は102.6と前月比8.4%低下しました。

主要業種では、橋梁等の生産が増加した金属製品 等が上昇したものの、四輪自動車が減産となった輸 送機械、ビール類の生産が減少した食料品が低下。 生産は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が 見られますが、緩やかな持ち直しの動きが続いていま す。



持ち直しの動きが続いている 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%減の 552億円となりました。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、衣料品 や宝飾品、家電等を中心に前年を下回ったものの、飲 食料品が前年を上回り、全体ではほぼ前年並み水準 となっています。

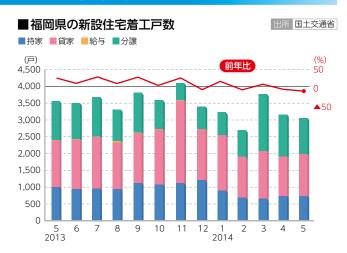




消費税増税に伴う駆け込み着工の反動減が見られる 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、3,143戸と前年同月 比10.9%減少しました。

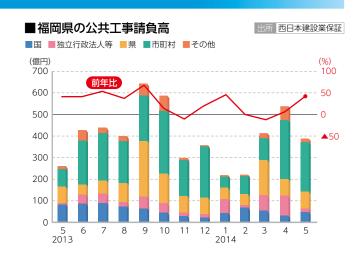
平成27年より増税となる相続税の対策等で「貸家」 が好調な一方、消費税増税に伴う駆け込み着工の反 動で、「持家」、「分譲」は大幅に減少しています。



2ヵ月連続で前年を上回る 4.公共工事

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比3.3%減の527件、金額が前年同月比46.3%増の 380億円となりました。

発注者別では、地下鉄七隈線建設工事があった[市 町村」が前年を大きく上回りました。



負債総額は前年を上回る 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数 が前年同月と同数の31件、負債総額は同41.4%増 の約59億円となりました。

卸売業等で10億円を超える倒産が3件発生し、負 債総額は前年を上回っています。



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費が底堅く推移している他、主要指標である生産が増加基調にある等、総じて持ち 直しの動きが続いています。

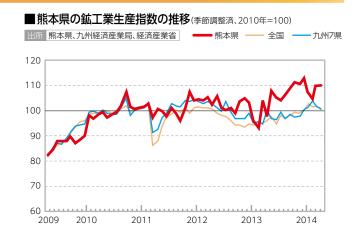
生産は、化学や電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、消費税増税 前の駆け込み需要の反動減が一部に見られますが、主力の飲食料品が好調である等、底堅く推移しています。 住宅建設も底堅い動きが続いています。

(大仲陽介)

持ち直しの動きが続いている 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は110.3と前月比0.1%低下しました。

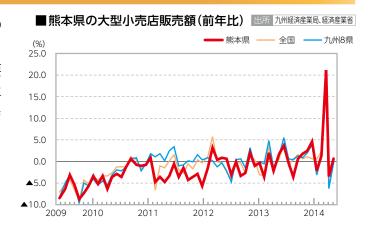
主要業種では、半導体製造装置が減産となったは ん用・生産用機械が低下したものの、医薬品が増産と なった化学やスマートフォン向け半導体の生産が好 調な電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動 きが続いています。



| 底堅く推移している 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%増の 134億円となりました。

高額商品を中心に、消費税増税前の駆け込み需要 の反動減が見られるものの、主力の飲食料品が前年 同月比7.8%と好調で、全体では前年を上回っていま す。

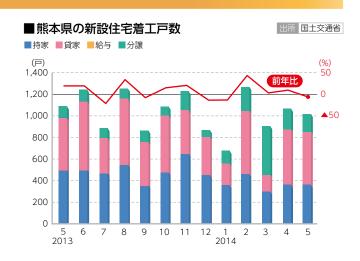




|底堅く推移している 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、1.015戸と前年同月 比6.6%減少しました。

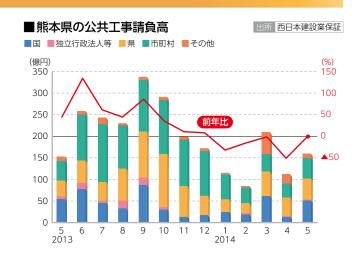
「持家」「貸家」は前年(同月)を下回りましたが、「分 譲(マンション) |が前年(同月)を上回る等、住宅建設 は底堅く推移しています。



4.公共工事 | 5ヵ月振りに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比10.8%減の290件、金額が同3.7%増の161億円 となりました。

発注者別では、河川の護岸工事があった「県」と市 庁舎建設工事があった「市町村」が前年を上回りまし た。



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数 が前年同月比40.0%増の7件、負債総額が同58.9% 増の約3億円となりました。

1億円以上の倒産が無く、負債総額は低水準に抑 制されています。



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気|緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産で持ち直しの動きが続く他、個人消費では消費税増税に伴う反動減の影 響が薄れつつある等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いています。個人消費 は、主力の飲食料品が前年比プラスに転じる等、駆け込み需要の反動減の影響が薄れつつあります。住宅建設で は、分譲マンションの着工が前年を大きく上回る等、3ヵ月ぶりに着工戸数が前年を上回りました。

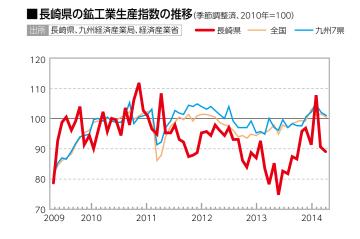
(下田大氣)

持ち直しの動きが続いている 1.生產活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は88.3と前月比5.5%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動き が見られるものの、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、新造船が減産となった輸送機械が 低下した他、生菓子の生産が減少した食料品が低下 しました。



消費税増税前の駆け込み需要の反動は薄れつつある 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.6%減の 93億円となりました。

衣料品や宝飾品等で消費税増税前の駆け込み需 要の反動減が見られたものの、飲食料品は前年プラ スに転じる等、反動減の影響は薄れつつあります。



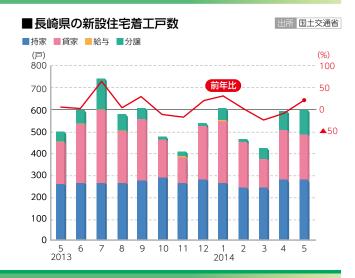




着工戸数は3ヵ月ぶりに前年を上回る 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、598戸と前年同月比 20.1%増加しました。

「貸家」や「分譲(戸建)」は前年を下回ったものの、 「持家」や「分譲(マンション)」が前年比大幅増加とな り、全体を押し上げました。



7ヵ月ぶりに前年を下回る 4.公共工事

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比18.1%増の215件、金額が同5.0%減の86億円と なりました。

発注者別では、焼却施設建設の大型案件があった 「市町」が前年を上回りました。



負債総額は前年を上回る 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 が前年同月比25.0%増の5件、負債総額が同約4倍 の約14億円となりました。

運送業で10億円の大型倒産が発生し、負債総額は 前年を上回りました。



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 |緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産が底堅く推移している他、個人消費では消費税増税に伴う反動減の影 響が薄れつつある等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。個人消費は、主 力の飲食料品が前年比プラスに転じる等、駆け込み需要の反動減の影響が薄れつつあります。住宅建設は5ヵ 月ぶりに前年を上回りました。

(下田 大氣)

底堅く推移している 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は95.5と前月比4.3%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動き が見られるものの、底堅く推移しています。

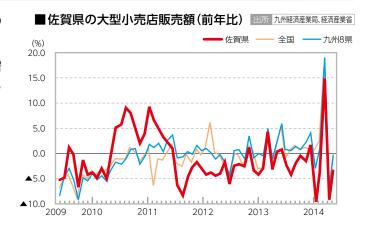
主要業種では、輸送機械と食料品で駆け込み需要 の反動減が見られました。



│消費税増税前の駆け込み需要の反動は薄れつつある 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.3%減の 52億円となりました。

衣料品や宝飾品等で消費税増税前の駆け込み需 要の反動減が見られたものの、飲食料品は前年プラ スに転じる等、反動減の影響は薄れつつあります。

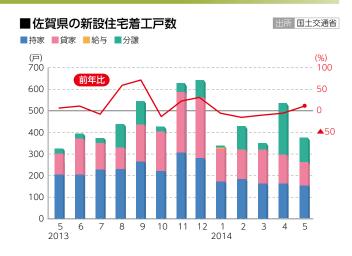




|着工戸数は5ヵ月ぶりに前年を上回る 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、372戸と前年同月比 9.7%増加しました。

「持家」が前年を下回ったものの、前年に着工がな かった 「分譲(マンション) | で着工があり(89戸)、5ヵ 月ぶりに前年を上回りました。



4.公共工事 3ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比16.8%減の168件、金額が同8.4%減の80億円と なり、3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、学校校舎建設の大型案件があった 「市町村」が前年を上回りました。



ホテル業で大型倒産発生 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 が前年同月比33.3%増の4件、負債総額が同約24倍 の約45億円となりました。

ホテル業で約40億円の大型倒産が発生し、負債総 額は前年を大幅に上回りました。



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

大分県の景気は、主要指標である生産や個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いていま す。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動きが見られるものの、底堅く推移しています。個人消費は、駆 け込み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移し ています。住宅建設にも駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

底堅く推移している 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は96.2と前月比8.5%低下しました。

生産は、駆け込み需要の反動減に伴う減産の動き が見られるものの、底堅く推移しています。

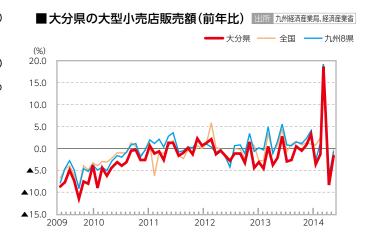
主要業種では、自動車向け内装部品の生産が減少 したプラスチック製品や、焼酎が減産となった食料品 が低下しました。



底堅く推移している 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の 92億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られているもの の、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる 等、個人消費は底堅く推移している。

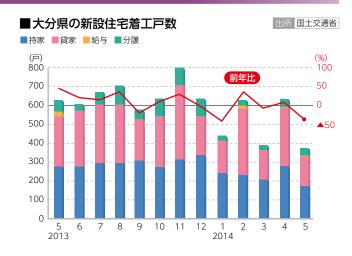




駆け込み需要の反動減が見られる 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.6%減 の376戸となりました。

全ての項目で前年を下回る等、駆け込み需要の反 動減が見られます。



7ヵ月連続で前年を下回る 4.公共工事

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比47.2%減の177件、金額が同42.4%減の78億円 となりました。

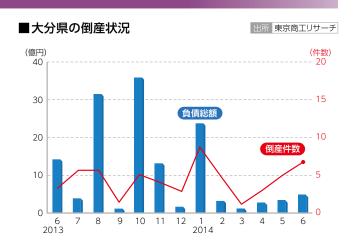
発注者別では「市町村」が前年を大きく下回り、全 体でも7ヵ月連続で前年を下回りました。



負債総額は低水準に抑制 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数 が前年同月比50.0%増の6件、負債総額が同60.2% 減の約5億円となりました。

レストラン業で2億円の倒産がありましたが、負債 総額は低水準に抑制されています。



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、主要指標である生産や個人消費が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いていま す。

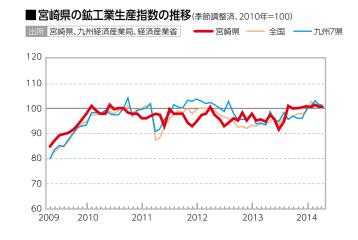
生産は、鉄骨等が減産となった鉄鋼・金属製品が低下したものの、底堅く推移しています。個人消費は、駆け込 み需要の反動減がなお見られるものの、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる等、底堅く推移してい ます。住宅建設にも駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

底堅く推移している 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は前月比0.6%減の100.4と安定推移し ています。

主要業種では、鉄鋼原料や鉄骨等が減産となった 鉄鋼・金属製品が低下したものの、生産は底堅く推移 しています。



底堅く推移している 2.個人消費

5月の大型小売店販売額は、前年同月比5.1%減の 67億円となりました。

駆け込み需要の反動減がなお見られているもの の、非耐久消費財を中心に収束した品目も見られる 等、個人消費は底堅く推移しています。





駆け込み需要の反動減が見られる

5月の新設住宅着工戸数は、615戸と前年同月比 18.1%減少しました。

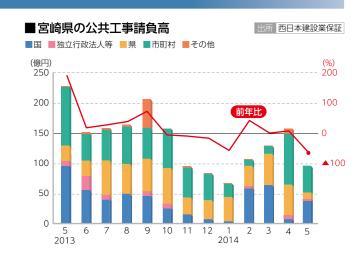
「持家」「貸家」「分譲」が前年を下回る等、駆け込み 需要の反動減が見られます。



4ヵ月ぶりに前年を下回る 4.公共工事

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比30.3%減の258件、金額が同56.9%減の95億円 となりました。

大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回りま した。



負債総額、件数ともに3ヵ月ぶりに増加 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 が前年同月比2倍の6件、負債総額が同約3倍の約5 億円となりました。

診療所で約3億円の倒産が発生した他、1億円未満 の倒産が5件発生し、負債総額、件数ともに3ヵ月ぶり に増加しました。



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られるものの、持ち直しの動きが見られま す。

生産は、電子部品・デバイス等が低下しましたが、底堅く推移しています。個人消費は、消費税増税に伴う駆け 込み需要の反動減が見られるものの、マイナス幅は縮小しています。住宅建設は底堅く推移しています。

(森山 裕司)

|底堅く推移している 1.生産活動

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見る と、総合指数は86.9と前月比0.6%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移して います。

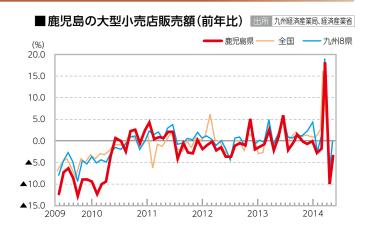
主要業種では、でんぷんや焼酎が増産となった食 料品が上昇したものの、液晶パネル関連の生産が減 少した電子部品・デバイスが低下しました。



2.個人消費 | 底堅く推移している

5月の大型小売店販売額は、前年同月比2.7%減の 129億円となりました。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動で、主力の 衣料品、飲食料品ともに前年を下回ったものの、マイ ナス幅は縮小しています。





底堅く推移している 3.住宅建設

5月の新設住宅着工戸数は、666戸と前年同月比 3.4%増加しました。

消費税増税前の駆け込み着工の反動で「持家」「分 譲(戸建) |が前年を下回ったものの、「貸家 | 「分譲(マ ンション)」が前年を上回る等、底堅く推移していま す。



2ヵ月連続で前年を上回る 4.公共工事

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月 比5.6%増の322件、金額が同25.4%増の192億円 となりました。

発注者別では、ダム工事があった「国 | や、道路整備 工事があった「県」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連 続で前年を上回りました。



負債総額が前月比で大幅に増加 5.企業倒産

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数 が前年同月と同数の7件、負債総額が同53.4%減の 約18億円となりました。

小売業で約13億円の大型倒産が発生し、負債総額 は前月比で大幅に増加しています。



経済指標

項目		鉱	工業指数(20	10年=100)		機械受注金額 (船舶・電力を	貿	易	公共工	-	建築着工 工事費予	
4 0	生産技	旨数	出荷打	旨数	在庫技	指数	除く民需)	輸出金額	輸入金額	保証請負	金額	(非居住	用)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	前月(年)比(%)	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	97.2	▲ 2.8	96.3	▲3.7	104.3	4.3	7.8	▲2.7	12.1	109,755	▲3.4	78,693	3.5
2012 年	97.8	0.6	97.5	1.2	110.4	5.8	▲0.9	▲2.7	3.8	125,423	14.3	79,685	1.3
2013 年	97.0	▲0.8	96.9	▲0.6	107.4	▲2.7	5.2	9.5	14.9	141,492	12.8	95,027	19.3
2013. 4	95.7	▲3.2	95.7	▲3.0	107.1	▲ 4.2	▲ 5.6	3.8	9.5	15,991	28.6	7,987	23.0
5	97.7	▲1.0	96.4	▲2.2	107.5	▲2.7	6.1	10.1	10.1	10,842	24.8	7,632	27.2
6	95.0	▲ 4.7	94.5	▲ 5.2	107.6	▲2.9	▲ 1.0	7.4	11.8	13,868	21.7	8,138	20.4
7	97.6	1.9	96.0	1.4	108.4	▲ 2.8	0.3	12.2	19.7	15,725	29.4	8,013	21.4
8	97.1	▲ 0.6	96.1	▲ 1.4	107.6	▲3.4	5.1	14.6	16.0	12,267	7.9	7,861	14.3
9	98.6	5.3	97.7	4.6	107.5	▲3.5	▲ 1.1	11.5	16.5	15,235	29.4	8,697	11.1
10	99.2	5.4	99.0	6.3	107.2	▲3.6	0.9	18.6	26.2	14,205	3.5	8,650	14.2
11	99.5	4.8	99.1	6.6	105.7	▲ 5.1	6.5	18.4	21.1	9,416	4.9	7,991	13.7
12	100.0	7.2	99.3	6.4	105.5	▲ 4.3	▲ 12.1	15.3	24.7	8,860	7.5	8,145	24.1
2014. 1	103.9	10.6	104.4	9.3	105.1	▲3.9	8.1	9.5	25.1	7,776	28.8	7,954	35.7
2	101.5	7.0	103.4	6.5	104.2	▲3.4	▲ 4.6	9.8	9.0	6,959	3.7	7,804	1.7
3	102.2	7.4	103.2	6.5	105.7	▲ 1.4	19.1	1.8	18.1	14,568	18.1	8,478	1.2
4	99.3	3.8	98.0	2.4	105.2	▲1.9	▲ 9.1	5.0	3.3	17,583	10.0	9,353	17.1
5	100.0	1.0	97.0	▲0.8	108.4	0.8	▲19.5	▲ 2.8	▲ 3.6	13,126	21.1	8,020	5.1
出所			経済産	業省			内閣府	財務	务省	西日本建設	文業保証	国土交流	通省

項目		新設	住宅着工戸数	女		企業物化		消費者物		大型小		乗用	車
	合計	ŀ	持家	貸家	分譲	(2010年	=100)	(2010年	=100)	販売	額	乗用車新規	登録台数
年月	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	億円	前年比(%)	台	前年比(%)
2011年	834,215	2.6	0.1	▲ 4.1	16.2	101.5	1.5	99.7	▲0.3	195,933	▲0.9	2,381,121	▲18.5
2012年	882,797	5.8	2.0	11.4	5.2	100.6	▲0.9	99.7	▲0.0	195,916	▲0.0	3,008,634	26.4
2013年	980,025	11.0	13.9	11.8	6.9	101.9	1.3	100.0	0.4	197,773	0.9	2,865,354	▲ 4.8
2013. 4	77,894	5.8	17.5	7.8	▲6.9	101.5	0.1	99.7	▲0.7	15,508	▲1.0	187,420	0.4
5	79,751	14.5	13.5	11.6	21.7	101.6	0.6	99.8	▲0.3	15,889	0.8	191,560	▲ 9.0
6	83,704	15.3	13.8	13.1	24.3	101.6	1.2	99.8	0.2	16,385	4.5	232,759	▲ 17.6
7	84,801	12.4	11.1	19.4	6.0	102.2	2.2	100.0	0.7	17,127	▲0.7	249,318	▲ 15.5
8	84,343	8.8	11.2	7.0	8.5	102.4	2.3	100.3	0.9	15,823	0.9	188,521	▲ 7.9
9	88,539	19.4	14.2	21.5	23.5	102.6	2.2	100.6	1.0	15,059	1.7	283,577	12.6
10	90,226	7.1	17.6	3.3	▲2.7	102.5	2.5	100.7	1.1	15,911	0.8	232,159	18.5
11	91,475	14.1	22.6	17.1	▲1.0	102.5	2.6	100.8	1.5	16,963	1.2	241,856	13.4
12	89,578	18.0	19.1	29.8	2.1	102.8	2.5	100.9	1.6	21,399	0.9	222,451	19.6
2014. 1	77,843	12.3	5.9	21.5	8.6	102.9	2.4	100.7	1.4	17,117	1.5	263,978	28.2
2	69,689	1.0	▲0.4	24.7	▲20.9	102.8	1.8	100.7	1.5	14,690	3.2	299,336	14.7
3	69,411	▲2.9	▲ 13.0	11.3	▲8.5	102.8	1.7	101.0	1.6	19,562	17.9	416,318	12.9
4	75,286	▲3.3	▲ 16.1	12.0	▲ 7.8	105.8	4.2	103.1	3.4	14,677	▲ 5.4	165,377	▲11.8
5	67,791	▲ 15.0	▲22.9	3.1	▲27.1	106.1	4.4	103.5	3.7	15,924	0.2	208,105	8.6
出所			国土交通省			日本銀	艮行	総務	省	経済産	業省	日本自動車販売	協会連合会

項目	乗用	車	家	計消費支出	(勤労者世帯)		有効求人 倍率	完全 失業率	倒産何	牛数	預金列	浅高	貸金死	浅高
年月	軽乗用車則	反売台数	可処分	所得	消費。	5出	In T	大未平						
平月	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	%	件	前年比(%)	百億円	前年比(%)	百億円	前年比(%)
2011年	1,138,752	▲11.4	420,538	▲2.2	308,838	▲3.0	0.65	4.5	12,734	▲ 4.4	59,694	3.5	41,350	1.0
2012年	1,557,681	36.8	425,005	1.1	313,874	1.6	0.80	4.4	12,124	▲ 4.8	61,144	2.4	42,126	1.9
2013年	1,690,171	8.5	426,132	0.3	319,170	1.7	0.93	4.0	10,855	▲10.5	63,879	4.5	43,320	2.8
2013. 4	120,937	1.4	385,584	▲0.2	340,423	0.4	0.88	4.1	899	▲10.5	62,927	3.8	42,198	2.3
5	116,460	▲8.4	318,353	2.8	307,926	1.1	0.90	4.1	1,045	▲9.0	63,155	4.1	42,230	2.7
6	145,530	▲ 2.9	591,825	1.7	296,512	1.2	0.92	3.9	897	▲8.0	63,394	4.3	42,413	2.5
7	152,038	1.6	454,329	1.3	310,387	▲0.7	0.94	3.8	1,025	▲0.1	62,809	4.2	42,387	2.8
8	121,824	10.0	388,907	▲0.3	312,622	0.6	0.95	4.1	819	▲ 15.3	62,753	4.3	42,431	2.9
9	161,895	28.9	349,578	1.0	315,443	5.2	0.96	4.0	820	▲11.9	63,461	4.2	42,913	2.6
10	121,574	18.2	401,139	0.0	316,555	0.4	0.98	4.0	959	▲ 7.3	62,811	4.3	42,549	2.7
11	136,099	23.0	356,208	0.5	300,994	0.3	1.01	4.0	862	▲ 10.6	63,259	4.5	42,820	3.1
12	136,035	39.3	754,307	▲0.1	358,468	▲0.3	1.03	3.7	750	▲ 15.7	63,879	4.5	43,320	2.8
2014. 1	169,338	34.9	358,398	1.2	325,804	1.5	1.04	3.7	864	▲ 7.5	63,545	4.2	43,110	2.8
2	190,502	25.9	398,281	0.6	294,509	▲ 1.4	1.05	3.6	782	▲ 14.6	63,605	3.8	43,139	2.6
3	248,849	23.8	358,682	▲ 1.3	384,680	9.6	1.07	3.6	814	▲12.4	65,089	3.3	43,736	2.5
4	127,339	5.3	373,090	▲3.2	329,976	▲3.1	1.08	3.6	914	1.7	64,878	3.1	43,304	2.6
5	125,717	7.9	320,940	0.8	293,050	▲ 4.8	1.09	3.5	834	▲20.2	64,753	2.5	43,343	2.6
出所	全国軽自動車	協会連合会		総務	緒		厚生労働省	総務省	東京商工!	ノサーチ		日本	銀行	

⁽注) 鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。なお、前年比増減率 は、調査対象事業所見直し(2010年7月)に伴うギャップを調整するリンク係数で処理してあるため、実数と乖離する。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人 以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きバートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。 預貸金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

経済指標 福岡 Fukuoka

項目				鉱工	業生産指数(2010年=1	00)				鉱工業出		鉱工業在	
	総	合	鉄	鋼	食料品 ·	たばこ	はん用・生	上産用機械	輸送	機械	(2010 \$	F=100)	(2010年	=100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	101.7	1.7	96.8	▲3.2	98.3	▲ 1.7	106.1	6.1	109.7	9.7	102.8	2.8	118.0	18.0
2012年	107.2	5.4	91.0	▲ 6.1	101.2	3.0	100.7	▲ 5.0	126.7	15.5	108.6	5.6	131.3	11.3
2013年	103.9	▲3.1	89.1	▲2.0	96.5	▲ 4.6	100.9	0.2	119.6	▲ 5.6	105.1	▲3.2	141.4	7.7
2013. 4	106.2	3.7	85.7	▲ 5.1	96.1	▲3.3	90.2	▲8.3	128.3	9.0	107.4	1.5	131.4	▲2.0
5	101.4	▲ 5.1	90.1	▲ 5.7	98.2	▲2.8	110.9	15.4	105.5	▲ 17.3	104.5	▲ 4.1	128.6	▲3.3
6	107.5	1.7	91.0	▲ 2.1	98.7	▲ 4.0	98.6	▲ 2.7	122.6	5.8	107.3	1.2	132.6	▲1.4
7	106.3	0.2	86.0	▲ 6.7	99.4	4.9	102.4	4.1	124.1	▲2.9	108.1	0.8	138.2	4.9
8	103.5	▲ 6.0	87.0	▲ 3.8	96.5	▲ 6.5	107.9	6.4	121.4	▲ 11.7	104.8	▲ 5.4	141.8	4.7
9	104.2	▲1.0	89.6	▲1.0	94.2	▲ 1.6	104.4	4.4	121.5	▲ 1.4	106.2	0.4	148.1	10.2
10	100.9	▲ 6.4	88.6	1.8	97.4	▲2.7	96.5	▲ 6.1	111.8	▲ 12.7	101.4	▲ 6.9	150.5	11.2
11	102.1	▲ 7.4	92.5	9.8	90.9	▲ 13.2	104.1	1.7	113.6	▲14.4	103.3	▲8.0	153.0	14.2
12	103.2	▲ 1.0	95.4	13.7	89.4	▲10.7	115.7	20.3	115.4	▲8.1	105.3	▲0.5	155.9	19.8
2014. 1	108.4	4.9	87.9	3.7	89.7	▲11.7	113.5	18.4	136.7	11.3	109.7	6.4	138.3	▲ 6.6
2	110.4	4.4	77.8	▲ 13.5	93.1	▲ 7.0	98.9	0.3	137.1	7.9	112.5	6.1	136.0	2.5
3	112.0	8.5	84.2	▲ 6.9	93.6	▲ 4.4	105.0	17.2	138.7	13.2	112.7	8.0	125.9	▲ 5.6
4	102.6	▲ 3.4	86.2	0.6	79.8	▲ 17.0	129.8	43.8	111.2	▲ 13.3	101.8	▲ 5.2	132.8	1.0
5														
出所							福岡県	調査統計課						

					nuh 645 34							NV sta -tv	11. / THE 18.		
項目	貿	易		工事		T工統計 予定額		新設	设住宅着工戸	i数			物価指数 年 = 100)	大型小	
	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額		住用)	合	! †	持家	貸家	分譲		岡市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	0.2	13.9	3,321	▲ 15.7	2,560	▲0.5	34,945	12.2	▲0.7	8.6	46.1	99.8	▲0.2	689,334	4.3
2012 年	2.0	6.9	3,691	11.1	2,825	10.4	36,111	3.3	▲0.3	11.4	▲ 5.8	99.6	▲0.1	689,812	0.1
2013 年	6.6	13.6	4,742	28.5	3,855	36.4	41,335	14.5	12.9	8.5	27.6	99.6	▲0.0	698,746	1.3
2013. 4	8.2	5.9	479	70.7	241	7.2	3,550	37.0	17.2	39.7	57.6	99.3	▲ 1.1	53,502	▲ 1.8
5	▲ 1.6	6.6	260	38.1	289	69.6	3,526	29.3	16.9	13.9	67.1	99.4	▲0.6	55,393	0.6
6	10.6	15.5	428	36.7	202	14.1	3,486	7.7	17.8	▲ 16.2	58.7	99.2	▲0.3	56,095	4.7
7	9.8	10.2	447	53.8	350	71.7	3,619	24.8	4.4	15.5	76.7	99.5	0.0	62,702	▲0.6
8	13.2	7.7	396	34.0	312	67.4	3,283	8.0	▲0.4	▲11.9	63.9	99.6	0.3	55,561	▲0.1
9	13.1	19.1	642	66.4	514	66.0	3,785	24.0	22.2	7.5	60.0	100.5	1.1	52,490	1.5
10	15.5	4.6	591	17.8	313	28.0	3,536	8.0	12.3	20.5	▲16.0	100.1	0.8	55,351	0.4
11	21.8	50.3	297	▲8.9	506	178.8	4,083	29.4	30.1	51.5	▲26.0	99.9	0.9	59,659	2.7
12	13.8	21.7	347	19.2	422	0.5	3,407	▲3.0	11.7	▲ 7.3	▲ 12.1	100.2	1.3	78,677	3.9
2014. 1	13.1	18.7	233	43.1	217	15.9	3,061	11.1	8.5	24.8	▲15.1	99.8	0.4	60,172	▲ 1.4
2	19.7	13.3	235	4.6	152	▲24.6	2,698	▲8.2	▲ 10.0	▲ 7.2	▲ 6.8	99.8	0.7	51,271	2.5
3	6.5	8.5	410	▲ 12.3	274	▲ 13.5	3,669	9.0	▲ 19.9	17.6	20.2	99.9	0.8	69,947	20.0
4	▲ 1.3	6.4	542	13.0	545	126.3	3,181	▲10.4	▲ 17.0	▲9.2	▲ 1.3	101.8	2.6	49,589	▲ 7.3
5	10.5	4.6	380	46.3	126	▲ 56.6	3,143	▲10.9	▲26.0	26.1	▲40.6	102.2	2.9	55,183	▲0.4
出所	財務	务省	西日本建	設業保証				国土交通省				総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用	車			計消費支出 (化九州・福岡	勤労者世帯) 団 大都市圏		有効求人	倒商	 全件数	預金列	港高	貸金死	浅高
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分		消費3	5出	倍率	123/2	L1122	J/(1127)	~!-3	X	~!->
年月	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	91,956	▲19.1	46,901	▲ 12.2	391,156	0.5	298,184	▲ 1.8	0.58	390	4.0	186,080	2.0	145,885	3.7
2012 年	117,560	27.8	62,719	33.7	409,613	4.7	312,533	4.8	0.70	381	▲2.3	191,215	2.8	152,234	4.4
2013 年	113,170	▲3.7	68,478	9.2	409,344	▲0.1	307,009	▲ 1.8	0.79	351	▲ 7.9	199,612	4.4	157,877	3.7
2013. 4	7,336	4.1	4,884	5.1	364,158	▲2.7	298,476	▲8.6	0.76	29	▲12.1	196,511	2.9	152,742	3.5
5	7,078	▲ 12.5	4,562	▲ 11.2	318,753	8.0	318,662	5.2	0.78	37	5.7	194,228	3.3	152,304	3.5
6	8,707	▲18.5	5,699	▲ 4.5	536,511	▲ 5.0	273,282	▲18.6	0.78	31	47.6	197,013	4.1	152,316	3.4
7	9,468	▲ 19.3	6,230	0.7	456,357	11.3	352,901	16.6	0.79	24	▲36.8	196,182	4.3	152,748	3.5
8	7,530	▲ 7.9	5,108	13.7	371,656	▲ 3.7	315,668	6.5	0.80	19	▲ 42.4	197,473	5.1	153,283	3.5
9	11,761	18.0	6,596	28.9	338,388	0.2	294,012	8.8	0.82	36	28.6	195,642	2.8	154,735	2.8
10	9,207	22.8	5,181	36.0	356,977	▲ 9.9	286,827	▲ 6.7	0.84	40	▲ 9.1	195,541	3.2	155,163	3.5
11	9,659	16.7	5,455	19.9	340,458	0.6	289,131	▲2.7	0.85	33	13.8	197,949	4.6	156,479	4.0
12	9,080	22.5	5,282	35.4	760,303	2.3	374,513	8.1	0.87	20	5.3	199,612	4.4	157,877	3.7
2014. 1	10,643	26.1	6,959	35.8	342,813	▲0.4	304,451	2.2	0.90	25	0.0	197,591	4.2	157,256	3.7
2	12,046	9.6	7,817	25.4	387,859	▲ 3.7	314,793	17.7	0.92	20	▲28.6	198,540	3.5	157,915	3.6
3	15,816	13.6	9,697	19.4	351,957	9.4	394,738	25.3	0.93	24	▲17.2	201,143	3.5	158,689	3.7
4	6,352	▲13.4	5,306	8.6	347,403	▲ 4.6	304,005	1.9	0.93	40	37.9	202,209	2.9	158,502	3.8
5	8,095	14.4	5,429	19.0	290,936	▲8.7	270,166	▲ 15.2	0.94	33	▲10.8	202,446	4.2	158,481	4.1
出所	日本自動車販売	協会連合会	全国軽自動車	車協会連合会	•	総務	省		厚生労働省	東京商	Eリサーチ	•	日本	銀行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

熊本 Kumamoto

経済指標

項目				鉱工	業生産指数(2010年=10	00)				鉱工業と		鉱工業在	
	総	合	食料	斗品	電子	部品	はん用・生	E産用機械	輸送	機械	(2010 4	£=100)	(2010年	==100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.5	0.4	103.0	3.0	93.6	▲ 6.4	117.1	17.1	103.2	3.1	100.7	0.7	103.8	3.8
2012年	103.6	3.1	100.5	▲2.5	132.9	42.1	101.2	▲ 13.6	97.9	▲ 5.1	100.8	0.1	98.5	▲ 5.1
2013年	104.9	1.3	100.2	▲0.3	141.0	6.1	104.0	2.7	87.3	▲10.9	100.7	▲0.1	91.6	▲ 7.0
2013. 4	99.3	▲2.4	100.7	2.4	129.6	5.4	66.6	▲36.3	85.9	▲10.5	96.9	▲0.4	91.5	▲ 9.5
5	106.5	1.9	98.8	▲ 3.3	173.4	38.8	87.3	▲24.1	84.1	▲18.6	104.0	6.2	89.3	▲ 14.6
6	104.4	▲0.1	96.5	▲ 5.0	156.9	28.3	94.8	▲ 13.0	81.5	▲ 16.7	98.9	▲3.0	89.8	▲ 14.3
7	104.8	5.6	99.6	3.6	131.0	3.3	101.3	5.8	84.4	▲ 5.1	99.6	3.5	91.3	▲ 7.6
8	106.3	1.7	100.0	▲ 1.0	135.1	2.7	113.1	15.4	84.1	▲ 15.2	101.4	1.1	90.8	▲8.2
9	108.0	9.5	102.6	5.1	149.8	10.6	116.8	51.2	87.2	▲3.7	101.5	3.0	92.1	1.3
10	110.4	7.5	105.2	8.1	149.0	1.7	132.4	115.4	84.7	▲ 4.2	104.0	4.7	92.2	▲ 4.3
11	109.9	4.9	100.0	▲ 1.0	168.9	4.4	125.8	45.8	90.7	4.9	104.4	4.1	93.7	2.6
12	113.8	15.4	96.1	▲ 3.4	158.3	15.6	137.3	33.7	100.1	15.4	107.7	13.5	89.4	▲ 6.5
2014. 1	109.2	12.5	90.4	▲10.3	118.0	0.8	151.7	67.6	98.3	10.9	106.8	11.3	86.8	▲8.5
2	104.6	12.8	93.9	▲ 7.0	130.7	38.0	110.5	22.7	90.2	5.8	102.1	12.6	77.9	▲ 16.5
3	110.4	7.4	98.4	▲ 4.1	146.5	19.1	108.9	10.3	97.1	9.1	100.6	0.4	101.4	14.0
4	110.3	11.1	93.7	▲ 7.0	152.5	17.7	89.1	33.7	99.3	15.7	106.3	9.7	91.4	▲0.1
5														
出所							熊本県統	計調査課						

項目	貿	易		工事		工統計		新設	设住宅着工戸	数			物価指数 年 = 100)	大型小	
4.0	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額		住用)	合	it .	持家	貸家	分譲		本市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	4.5	16.8	1,713	▲14.9	1,385	22.8	10,063	13.8	4.7	7.6	112.1	99.5	▲0.5	166,476	▲ 2.5
2012 年	▲ 2.3	1.3	1,806	5.4	1,042	▲24.8	11,521	14.5	▲3.8	34.1	21.1	99.1	▲0.4	165,154	▲0.8
2013年	47.1	4.9	2,575	42.6	1,183	13.6	12,078	4.8	19.3	1.7	▲19.7	99.1	0.0	166,640	0.9
2013. 4	44.6	▲8.6	228	84.0	148	149.3	983	▲ 15.5	23.2	▲48.6	23.2	98.7	▲ 1.1	12,784	▲1.9
5	59.4	9.7	155	41.5	118	99.1	1,087	20.1	19.6	22.7	12.1	98.9	▲0.7	13,227	1.9
6	59.2	21.6	259	130.0	104	66.2	1,232	18.9	14.7	46.1	▲26.8	99.0	▲0.1	13,245	3.8
7	60.6	26.1	239	65.4	125	160.8	875	▲ 16.7	24.1	▲33.0	▲ 42.6	99.3	0.3	15,165	▲0.2
8	50.3	▲ 7.8	225	42.0	104	17.0	1,261	37.7	28.7	66.3	11.6	99.5	0.2	12,650	▲3.4
9	63.7	13.9	335	75.3	109	▲43.1	881	▲6.9	▲ 14.5	7.0	▲18.1	99.7	0.7	12,008	0.7
10	83.0	▲18.5	289	37.6	138	22.6	1,076	11.5	15.9	38.1	▲ 58.6	99.8	0.9	13,377	2.0
11	40.7	3.2	200	15.7	74	3.5	1,221	20.1	57.4	▲ 7.2	3.3	100.0	1.6	14,077	2.6
12	53.2	24.9	167	9.7	101	▲0.9	869	▲13.4	22.9	▲28.5	▲ 57.0	100.2	1.9	19,560	4.7
2014. 1	16.3	18.4	118	▲29.0	59	6.3	702	▲ 13.1	▲ 5.5	▲ 49.7	128.1	99.8	1.6	14,660	▲2.0
2	0.6	▲ 10.5	83	▲18.8	81	17.7	1,255	44.4	14.3	40.2	253.8	99.6	1.6	11,826	1.6
3	6.4	32.0	210	▲0.5	44	15.9	911	▲0.5	▲20.8	18.2	0.6	100.1	1.8	16,919	21.3
4	28.5	10.5	110	▲ 51.8	163	9.9	1,061	7.9	▲ 14.9	64.7	▲29.4	102.3	3.7	12,269	▲ 4.0
5	▲3.4	4.8	161	3.7	153	29.5	1,015	▲ 6.6	▲ 18.2	▲ 5.0	31.5	102.8	3.8	13,351	0.9
出所	財務	务省	西日本建	設業保証				国土交通省				総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用	車		家	計消費支出(勤労者世帯)		有効求人	倒透	E件数	預金列	紫豆	貸金死	张 喜
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分		消費3	送出	倍率	IFJ S	EITXX	7只亚7	지미	貝亚//	XIPJ
年月	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	29,430	▲22.7	22,718	▲14.7	351,844	▲ 6.7	277,713	▲ 6.5	0.61	110	▲3.5	51,564	1.4	30,903	2.1
2012年	37,962	29.0	31,789	39.9	396,686	12.7	314,374	13.2	0.68	98	▲10.9	53,225	3.2	31,741	2.7
2013年	35,900	▲ 5.4	33,820	6.4	397,409	0.2	299,637	▲ 4.7	0.85	72	▲ 26.5	54,720	2.8	32,621	2.8
2013. 4	2,457	1.4	2,608	4.3	341,221	▲ 2.0	265,558	▲28.1	0.80	4	▲33.3	53,758	2.1	31,533	3.1
5	2,205	▲ 18.6	2,408	▲ 5.4	335,650	14.0	373,172	50.1	0.82	7	16.7	54,041	3.5	31,755	3.3
6	2,761	▲22.3	2,825	▲ 4.1	560,036	2.0	246,458	▲ 19.5	0.84	5	▲ 50.0	54,500	3.5	31,868	3.2
7	3,123	▲17.4	3,188	2.4	416,459	15.9	264,428	▲ 1.5	0.88	5	▲ 16.7	53,504	3.3	31,883	3.2
8	2,393	▲ 9.4	2,401	▲ 5.0	386,725	16.8	265,747	▲ 13.8	0.89	5	▲37.5	53,919	3.9	31,944	3.3
9	3,578	15.7	3,195	26.0	300,185	▲ 7.1	331,725	24.4	0.91	7	▲ 12.5	53,652	2.4	32,483	2.5
10	2,944	23.3	2,298	2.9	364,351	▲ 15.4	310,515	▲ 1.8	0.92	5	▲ 50.0	53,520	3.4	31,929	2.3
11	3,147	21.2	2,582	13.1	306,331	▲ 9.4	291,899	▲ 4.7	0.95	5	▲44.4	53,870	3.7	32,079	3.0
12	2,733	17.0	2,485	21.6	655,492	4.0	425,632	29.2	0.98	5	▲44.4	54,720	2.8	32,621	2.8
2014. 1	3,541	36.0	3,224	20.7	300,394	▲ 11.6	290,978	10.2	0.97	6	▲14.3	53,911	2.8	32,326	3.1
2	3,994	16.4	3,602	9.5	328,113	▲ 12.1	292,646	7.4	0.96	9	0.0	54,020	2.5	32,454	3.5
3	5,108	12.9	4,624	19.5	297,340	▲ 23.6	353,299	24.4	0.94	2	▲ 75.0	54,828	2.4	32,997	2.3
4	2,187	▲ 11.0	2,744	5.2	311,623	▲8.7	317,339	19.5	0.93	6	50.0	55,302	2.9	32,312	2.5
5	2,401	8.9	2,796	16.1	277,050	▲ 17.5	292,458	▲21.6	0.97	3	▲ 57.1	55,739	3.1	33,074	4.2
出所	日本自動車販売	本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会				総務	省		厚生労働省	東京商	ニリサーチ	•	日本	銀行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 長崎 Nagasaki

項目				鉱工等	美生産指数(2	2010年=1	100)				造舸	rA	機械	等	電子部品
	総合	合	はん用・生		食料		電子部	部品	輸送相	幾械	生産		生産		生産高
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	前年比(%)
2011年	94.3	▲ 5.7	99.4	▲0.6	99.8	▲0.2	81.7	▲18.3	101.0	1.0	1,963	0.4	1,982	▲20.9	▲21.5
2012年	93.1	▲1.3	65.0	▲34.7	104.8	5.0	81.3	▲0.5	119.8	18.6	1,626	▲ 17.2	2,080	5.0	▲ 16.3
2013年	84.4	▲9.3	84.9	0.0	109.1	4.1	49.2	▲39.5	93.7	▲ 21.7	1,611	0.0	2,496	0.0	0.0
2013. 4	79.1	▲ 19.0	72.1	18.7	109.0	8.5	56.5	▲36.5	87.0	▲30.0	112	▲22.1	174	7.7	▲3.9
5	84.8	▲ 11.5	70.4	6.5	110.7	9.3	53.8	▲40.4	86.2	▲25.4	143	6.9	220	51.7	7.3
6	76.4	▲22.9	73.0	▲ 4.7	114.9	12.5	46.6	▲39.0	90.3	▲29.2	194	24.9	249	33.0	25.1
7	82.5	▲ 13.3	84.6	69.3	104.4	0.4	50.5	▲26.7	99.1	▲34.9	138	14.7	225	18.3	13.0
8	82.2	▲14.1	82.9	28.1	103.9	▲3.4	38.7	▲48.4	94.2	▲36.4	130	10.7	216	21.1	▲ 10.1
9	86.5	▲ 5.7	86.7	18.4	106.4	1.6	44.5	▲39.1	104.4	▲8.0	125	▲ 13.7	214	34.7	1.3
10	87.9	0.6	100.5	58.9	109.0	1.3	37.0	▲ 55.7	97.7	▲ 4.1	134	11.0	170	▲ 5.2	0.7
11	92.2	12.4	104.8	52.3	113.6	4.0	42.8	▲ 41.5	101.0	14.7	124	9.5	297	70.8	▲ 1.5
12	94.1	11.3	113.5	59.4	110.6	4.3	50.4	▲ 37.6	100.4	8.1	121	▲ 10.5	213	27.0	▲ 11.7
2014. 1	91.3	11.9	130.0	73.4	110.5	3.7	44.7	▲41.3	91.0	7.4	132	▲ 1.0	238	56.1	▲ 1.5
2	104.2	21.3	125.2	65.3	108.1	▲0.8	76.0	3.7	94.4	4.8	122	10.5	205	20.3	22.8
3	93.4	14.9	122.0	71.4	104.3	▲ 6.6	58.8	7.0	89.6	4.8	107	▲26.0	196	0.3	42.8
4	88.3	12.4	139.3	89.6	103.2	▲4.9	56.3	0.0	78.0	▲ 9.5	135	20.6	253	45.3	37.1
5															30.8
出所					長崎県	統計課					三菱重	工業長崎造品	沿所、佐世保重	工業	日本銀行長崎支店

項目	貿	易	漁業水技	場 会額	公共二	-		工統計		新設	住宅着工	戸数		観光加入場			物価指数 年 = 100)
4- 0	輸出金額	輸入金額	7/m/2/C1313	<i>3</i> 3 <u>3</u> 2	保証請負	急金額		住用)	合	計	持家	貸家	分譲	(主要6施			崎市
年月	前年比(%)	前年比(%)	百万円	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	千人	前年比(%)	指数	前年比(%)
2011年	▲ 12.2	18.5	63,871	11.5	1,590	▲10.4	761	35.9	5,501	0.6	0.9	▲8.2	72.5	2,013	▲10.2	99.5	▲0.5
2012年	▲ 14.5	2.4	64,448	0.9	1,601	0.7	803	5.5	6,344	15.3	14.9	22.5	▲ 7.3	1,995	▲0.9	99.5	0.0
2013年	▲8.6	9.9	60,044	▲ 6.8	1,973	23.2	688	▲ 14.3	6,661	5.0	2.8	9.8	1.1	2,181	9.3	99.7	0.2
2013. 4	▲ 7.8	63.8	5,571	1.5	125	28.5	68	37.7	669	59.7	14.7	113.5	161.0	172	5.2	99.1	▲0.9
5	48.6	▲ 15.5	5,099	▲ 7.2	90	15.3	77	29.9	498	5.1	▲8.5	79.3	▲ 70.8	271	7.4	99.3	▲0.5
6	76.1	4.8	5,184	28.9	168	82.3	61	60.7	604	0.5	9.0	3.7	▲34.7	138	16.5	99.3	0.1
7	▲24.0	58.9	4,457	17.2	240	48.5	30	▲ 49.0	738	61.1	2.3	92.4	446.2	159	13.7	99.5	0.3
8	▲ 70.2	▲ 4.8	4,948	23.4	156	▲ 15.2	43	▲3.5	580	4.9	0.0	10.6	30.2	270	5.2	100.0	0.6
9	7.0	▲11.7	4,501	11.3	290	71.9	38	▲ 54.2	613	25.6	▲3.5	64.0	96.2	188	20.9	100.3	0.8
10	7.7	15.7	4,433	▲ 6.2	214	▲ 7.1	56	▲ 6.7	483	▲ 13.9	25.8	▲ 44.5	▲ 10.0	209	▲2.5	100.2	0.9
11	10.5	109.3	4,773	▲13.6	146	13.6	39	51.8	416	▲20.0	15.7	▲30.5	▲ 78.0	208	3.0	100.5	1.3
12	▲22.5	▲0.8	5,864	▲ 9.0	138	26.7	84	64.4	552	12.4	9.2	53.1	▲69.7	136	15.6	100.8	1.7
2014. 1	▲ 51.2	21.3	5,125	0.3	116	24.5	34	4.0	611	27.8	1.5	41.9	218.2	122	18.7	100.4	1.4
2	261.8	▲ 13.0	4,064	▲ 6.2	125	135.0	73	▲34.5	466	2.0	27.7	▲20.2	29.4	149	0.5	100.2	1.2
3	49.8	23.7	4,469	▲22.6	267	3.0	408	735.2	429	▲25.1	11.8	▲28.0	▲ 66.5	221	23.3	100.4	1.4
4	▲34.0	▲ 17.6	5,537	▲0.6	144	15.3	62	▲8.8	588	▲ 12.1	1.8	▲18.7	▲ 27.1	166	▲3.7	102.3	3.3
5	▲21.1	▲2.8	4,865	▲ 4.6	86	▲ 5.0	40	▲48.0	598	20.1	18.1	▲10.3	326.9	270	▲0.3	102.7	3.4
出所	財務	財務省 県内主要 4 魚		4 魚市場	西日本建設	0.				国土交通省	ì			長崎県観光振	興推進本部	総	務省

項目	大型小			乗用	車		家計	消費支出	(勤労者世帯) 市		有効 求人	倒產	E件数	預金列	高	貸金列	掲高
4 1	販売	額	乗用車新規登	登録台数	軽乗用車則	反売台数	可処分	所得	消費支	出	倍率						
年月	百万円	前年比(%)	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	121,789	▲ 1.9	18,633	▲21.2	18,210	▲ 14.8	336,448	▲24.9	271,058	▲ 13.0	0.58	78	8.3	42,677	1.6	23,035	1.0
2012年	117,232	▲ 3.7	23,255	24.8	24,759	36.0	333,216	▲ 1.0	275,314	1.6	0.64	76	▲ 2.6	43,379	1.6	23,456	1.8
2013年	119,990	2.4	21,657	▲ 6.9	26,688	7.8	391,917	17.6	308,148	11.9	0.73	49	▲35.5	45,357	4.6	24,639	5.0
2013. 4	9,073	▲ 1.4	1,424	▲0.8	1,976	5.3	381,014	28.2	362,766	40.5	0.71	5	0.0	44,439	1.2	23,403	2.1
5	9,618	1.5	1,366	▲15.9	1,824	▲ 8.6	301,634	30.6	264,538	5.7	0.71	3	▲ 70.0	44,334	2.9	23,727	3.2
6	9,635	5.9	1,580	▲ 27.1	2,415	1.6	655,659	58.8	271,495	18.6	0.72	4	▲ 50.0	45,007	3.0	23,664	2.5
7	11,015	2.1	1,917	▲18.1	2,496	3.2	375,664	11.9	324,568	20.6	0.74	4	▲33.3	44,628	3.4	23,848	3.0
8	9,805	▲ 1.0	1,353	▲16.4	1,829	1.4	384,311	21.0	322,265	5.5	0.74	6	20.0	44,819	3.7	23,896	2.9
9	8,824	2.3	2,009	3.9	2,455	26.0	322,467	10.0	362,656	15.2	0.75	6	100.0	44,611	3.8	23,998	2.0
10	9,335	3.2	1,824	24.8	1,861	14.7	370,417	24.2	312,855	19.6	0.76	2	▲ 75.0	44,712	4.8	24,009	3.5
11	10,139	3.0	1,774	11.7	2,043	14.8	287,988	1.6	275,205	▲8.6	0.77	3	▲ 70.0	45,179	5.4	24,164	4.3
12	13,210	3.7	1,641	18.2	2,190	29.7	615,285	▲ 9.2	309,975	▲ 7.6	0.78	6	20.0	45,357	4.6	24,639	5.0
2014. 1	9,882	▲ 7.5	2,198	24.8	2,642	21.9	272,165	▲ 20.1	295,867	▲ 6.1	0.77	6	50.0	45,133	4.6	24,594	5.9
2	8,623	0.1	2,416	15.4	2,832	24.9	301,524	▲ 13.6	274,605	▲0.5	0.78	6	50.0	45,383	5.0	24,669	5.9
3	11,077	10.4	3,112	6.8	3,550	12.2	261,764	▲18.0	467,104	55.5	0.77	2	0.0	46,473	4.9	24,998	4.3
4	8,292	▲ 8.6	1,302	▲8.6	2,156	9.1	317,007	▲ 16.8	254,649	▲ 29.8	0.81	8	60.0	46,634	4.9	24,521	4.8
5	9,261	▲3.6	1,469	7.5	2,245	23.1	278,028	▲ 7.8	239,276	▲9.5	0.84	6	100.0	46,733	5.4	24,846	4.7
出所	九州経済	F産業局	日本自動車販売	協会連合会	全国軽自動車	協会連合会		総系	省		厚生労働省	東京商	Eリサーチ		日本	銀行	

⁽注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。 観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海バールシーリゾート、平戸城、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

佐賀 Saga 経済指標

項目				鉱工	業生産指数(2010年=1	00)				鉱工業出 (2010年		鉱工業在	
<i>T</i> =	総	合	一般	機械	電子	部品	化	学	食料	料品	(2010 =	F=100)	(2010年	=100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.7	0.7	107.6	7.6	86.1	▲ 13.9	103.6	3.6	102.0	2.0	98.5	▲ 1.5	102.1	2.1
2012 年	96.1	▲ 4.6	100.1	▲ 7.0	74.4	▲ 13.6	101.8	▲ 1.8	100.6	▲ 1.3	93.0	▲ 5.6	101.8	▲0.2
2013 年	92.4	▲3.9	72.4	▲ 27.7	47.1	▲36.6	92.2	▲ 9.4	96.3	▲ 4.3	96.1	3.3	92.8	▲8.8
2013. 4	93.4	▲3.2	47.0	▲ 53.4	45.9	▲ 41.3	99.3	0.3	94.5	▲ 6.1	95.7	2.1	92.8	▲11.8
5	97.6	1.3	133.0	38.6	47.4	▲33.4	96.6	▲ 3.3	104.5	4.7	97.3	4.2	93.9	▲10.8
6	92.3	▲ 5.0	74.0	▲ 17.0	50.4	▲30.6	93.4	▲10.3	97.7	▲ 4.4	96.3	4.3	94.3	▲8.3
7	95.2	1.0	68.5	▲40.6	44.6	▲43.2	95.9	22.9	96.5	▲3.9	99.0	6.1	96.1	▲ 5.3
8	93.0	▲ 2.8	62.7	▲39.5	46.7	▲35.5	94.3	6.4	97.8	▲ 4.2	96.7	4.7	88.5	▲ 10.4
9	94.5	▲2.0	64.5	▲39.5	40.2	▲48.9	103.5	11.7	96.3	▲ 5.8	98.5	4.4	93.6	▲ 7.9
10	91.1	▲3.3	82.5	▲18.7	46.0	▲33.6	82.5	▲ 24.0	96.5	▲ 1.8	97.4	9.5	91.7	▲3.5
11	88.8	▲ 9.3	84.7	▲ 1.8	44.8	▲37.1	87.5	▲30.4	94.3	▲ 5.1	97.3	5.2	87.7	▲ 7.7
12	87.3	▲ 9.6	58.9	▲ 46.1	52.3	▲22.1	84.6	▲28.1	91.5	▲ 7.6	93.8	3.7	89.1	▲ 4.3
2014. 1	97.4	5.9	60.4	1.6	49.0	▲2.4	109.0	10.6	92.2	▲ 1.8	98.4	6.9	88.9	▲ 6.9
2	94.4	0.2	85.6	22.3	47.0	2.7	91.8	▲8.7	92.0	▲ 2.0	97.9	1.7	83.0	▲ 15.6
3	99.8	10.1	85.0	16.0	51.8	▲2.1	106.7	38.3	93.9	▲ 4.4	98.6	5.5	73.6	▲20.1
4	95.5	2.3	78.5	66.8	50.4	10.0	107.8	8.5	89.2	▲ 5.7	98.3	2.7	78.0	▲ 16.0
5														
出所							佐賀県	統計調査課						

項目	貿	易	公共			工統計		新設	2住宅着工戸	数			物価指数 年 = 100)	大型小	
4 D	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額	(非居		合	Ħ	持家	貸家	分譲		賀市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	▲39.4	▲ 12.1	978	▲ 7.5	662	2.3	4,417	8.4	2.9	10.6	60.9	99.4	▲0.7	70,066	0.3
2012年	15.6	11.4	1,077	10.1	596	▲ 10.0	4,524	2.4	▲0.8	12.3	▲20.2	99.3	▲0.1	67,989	▲3.0
2013年	11.7	▲ 2.1	1,178	9.4	684	14.6	5,568	23.1	23.4	13.5	71.2	99.4	0.2	67,244	▲ 1.1
2013. 4	▲91.1	▲ 16.1	113	▲ 9.7	61	▲ 18.9	546	33.5	16.5	13.8	166.7	98.9	▲0.8	5,224	▲3.1
5	▲32.8	▲ 12.4	88	2.0	43	115.6	339	8.7	28.0	▲24.6	92.9	99.1	▲0.5	5,379	0.4
6	▲25.3	57.2	109	35.4	44	▲24.5	394	14.2	17.8	1.9	115.4	99.3	0.2	5,365	0.9
7	2,787.8	▲27.0	178	79.9	55	▲24.6	384	▲11.1	3.1	▲ 11.3	▲ 58.5	99.3	0.3	5,856	▲ 2.3
8	81.8	0.8	104	20.3	42	34.3	436	48.8	36.4	▲3.0	442.1	99.7	0.5	5,629	▲ 4.0
9	▲49.8	▲28.8	105	8.9	64	▲31.4	562	55.7	20.4	58.6	360.0	100.1	1.0	4,957	▲ 1.8
10	1,614.3	▲15.8	146	39.5	61	▲ 4.4	424	▲ 11.3	15.7	▲32.4	▲ 9.1	100.1	1.0	5,394	▲0.5
11	▲ 74.9	26.7	86	7.9	77	34.9	618	24.1	61.7	9.7	2.5	100.0	1.1	5,639	▲ 1.4
12	▲65.0	0.7	73	▲29.1	90	72.4	628	39.9	40.1	26.7	140.0	100.3	1.7	7,285	1.4
2014. 1	▲96.8	60.7	51	▲18.5	46	▲25.2	344	▲ 7.5	12.4	4.7	▲87.1	100.0	1.2	5,486	▲ 9.4
2	3.9	50.6	34	▲ 21.3	66	45.4	427	▲ 13.4	6.2	▲ 50.2	101.8	99.7	1.2	4,797	▲3.2
3	▲28.6	1.6	82	17.2	41	2.4	351	▲ 5.6	13.1	▲25.7	21.9	100.0	1.3	6,305	14.6
4	474.0	53.1	135	19.8	110	79.9	527	▲3.5	▲29.7	▲ 26.8	71.3	101.8	3.0	4,741	▲ 9.2
5	▲14.9	10.7	80	▲8.4	89	108.9	372	9.7	▲33.3	8.9	337.0	102.4	3.3	5,199	▲3.3
出所	財利	財務省 西日本建設業保証						国土交通省				総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用]車		家	計消費支出 佐賀	(勤労者世帯) 8市		有効求人	倒走	全件数	預金列	第 高	貸金死	浅高
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分別		消費支	:出	倍率	12-3/2	E113A	175.00		× 1127.	Ζ(I □)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	12,548	▲23.0	11,414	▲11.8	429,542	▲ 5.8	314,463	▲3.7	0.62	45	▲ 4.3	21,268	0.8	11,217	0.0
2012 年	15,960	27.2	15,561	36.3	430,581	0.2	322,774	2.6	0.72	57	26.7	21,627	1.7	11,261	0.4
2013年	15,018	▲ 5.9	16,696	7.3	436,794	1.4	320,917	▲0.6	0.78	51	▲ 10.5	22,454	3.8	11,621	3.2
2013. 4	948	5.9	1,199	▲ 1.6	415,698	2.0	385,153	2.5	0.77	6	200.0	22,019	1.8	11,190	0.7
5	948	▲13.4	1,187	▲6.7	286,774	▲13.4	301,996	▲0.8	0.76	5	0.0	22,105	2.8	11,305	1.5
6	1,105	▲23.5	1,371	▲ 6.2	579,437	▲8.4	284,351	▲ 1.6	0.77	3	▲25.0	22,576	3.3	11,394	1.9
7	1,252	▲24.4	1,581	8.1	450,397	▲ 3.8	311,010	3.0	0.78	7	40.0	22,277	3.4	11,422	2.4
8	981	▲3.2	1,160	3.4	445,512	11.7	295,628	5.8	0.78	5	25.0	22,158	3.1	11,544	3.6
9	1,435	3.9	1,568	35.4	337,141	12.2	271,086	0.6	0.79	9	50.0	21,853	2.1	11,419	0.8
10	1,207	16.3	1,275	20.7	456,997	18.2	293,536	▲ 14.2	0.80	2	▲ 66.7	21,923	3.4	11,421	2.5
11	1,303	21.7	1,401	23.4	329,192	▲0.9	319,730	17.9	0.81	3	▲ 50.0	22,154	4.1	11,508	3.3
12	1,242	30.3	1,355	37.8	808,247	15.0	358,979	▲9.5	0.82	2	▲33.3	22,454	3.8	11,621	3.2
2014. 1	1,559	31.7	1,825	45.9	341,846	▲8.9	300,805	▲ 13.6	0.84	5	150.0	22,132	3.1	11,524	3.2
2	1,742	18.0	1,830	24.6	425,989	0.9	269,654	▲ 6.9	0.86	4	300.0	22,195	3.4	11,575	3.5
3	2,105	8.7	2,285	21.6	323,716	▲3.2	338,677	▲ 13.5	0.88	3	▲ 50.0	22,692	1.9	11,743	2.7
4	880	▲ 7.2	1,335	11.3	439,669	5.8	355,352	▲ 7.7	0.89	1	▲83.3	22,779	3.5	11,625	3.9
5	1,074	13.3	1,313	10.6	325,767	13.6	268,202	▲ 11.2	0.92	3	▲40.0	22,778	3.0	11,776	4.2
出所	日本自動車販売	協会連合会	全国軽自動車	車協会連合会		総務	省		厚生労働省	東京商コ	Eリサーチ	•	日本	銀行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 大分 Oita

項目				鉱工	業生産指数(2010年=1	00)				鉱工業出		鉱工業在	
4-0	総	合	鉄	鋼	はん用・生	産用機械	電子	部品	化	学	(2010年	E=100)	(2010年	=100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	100.5	0.4	101.6	1.5	97.8	▲2.2	100.3	0.2	107.3	7.3	98.6	▲ 1.4	108.4	8.4
2012年	99.9	▲0.6	105.0	3.4	99.7	2.0	111.1	10.8	96.5	▲ 10.1	99.3	0.7	102.4	▲ 5.5
2013年	97.3	▲ 2.6	106.1	1.0	102.7	3.0	84.8	▲23.7	106.6	10.4	95.5	▲ 3.8	104.0	1.6
2013. 4	104.0	5.8	111.4	▲0.4	106.8	13.1	104.0	0.8	122.9	77.6	101.7	4.2	106.3	3.9
5	100.1	2.5	109.9	2.2	99.6	▲8.7	77.7	▲37.4	136.7	99.3	98.0	6.2	107.0	11.3
6	90.9	▲10.9	104.9	▲0.7	95.4	▲ 5.7	74.4	▲ 41.1	101.6	7.2	90.9	▲10.0	107.2	2.6
7	95.9	▲ 7.0	114.3	4.8	101.3	6.2	75.9	▲34.8	95.9	▲ 19.0	94.6	▲ 11.2	104.6	1.7
8	95.3	▲ 5.7	111.6	5.7	104.2	8.0	74.5	▲38.0	98.0	▲0.4	94.0	▲ 4.8	103.8	1.1
9	97.0	▲0.6	105.7	4.9	104.0	6.0	89.9	▲14.4	98.8	▲8.5	92.2	▲ 4.5	106.2	1.8
10	97.2	▲0.2	105.5	2.2	102.9	2.8	82.1	▲ 13.3	106.7	5.5	94.9	▲0.1	103.0	1.7
11	97.9	▲0.8	107.0	3.5	109.7	12.0	83.1	▲ 16.0	100.5	▲1.9	96.5	▲0.2	101.2	▲3.0
12	96.0	▲3.3	102.0	▲ 6.9	104.9	6.9	81.4	▲23.9	101.7	0.5	94.8	▲ 4.2	98.6	▲8.2
2014. 1	100.6	0.2	105.9	0.8	99.9	▲1.9	85.4	▲ 16.5	104.4	▲0.5	97.7	0.9	97.8	▲ 9.1
2	102.7	6.2	108.9	23.6	105.5	4.3	90.0	▲ 16.5	114.2	10.5	98.9	1.6	97.1	0.1
3	105.1	7.9	104.9	▲ 1.1	112.1	14.2	90.0	21.1	85.1	▲26.0	103.4	8.5	93.0	▲ 11.8
4	96.2	▲ 7.5	91.8	▲ 17.7	112.5	5.3	86.3	▲ 17.0	71.7	▲ 41.7	92.0	▲ 9.6	96.4	▲ 9.3
5							_							
出所							大分県	統計調査課						

項目	貿	易	公共		建築着工事費			新設	设住宅着工戸	·数			物価指数 年 = 100)	大型小	
4 -0	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額	(非居		合	Ħ	持家	貸家	分譲	大:	分市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	13.5	24.5	1,288	▲16.1	958	29.2	5,691	▲ 1.2	1.9	▲ 12.3	30.3	99.7	▲0.3	124,448	0.9
2012年	▲10.8	▲ 5.2	1,396	8.3	635	▲33.8	6,670	17.2	1.4	19.6	65.1	99.9	0.2	123,046	▲ 1.1
2013年	21.5	22.3	1,732	24.1	1,006	58.5	7,431	11.4	16.0	21.9	▲ 18.8	100.1	0.2	121,812	▲ 1.0
2013. 4	8.9	25.1	259	73.2	184	208.3	599	▲ 14.2	▲3.7	41.0	▲ 68.4	99.7	▲0.8	9,112	▲3.9
5	42.8	24.4	136	91.6	61	18.6	623	42.2	11.7	87.2	33.3	99.6	▲0.9	9,541	▲2.2
6	15.7	48.9	147	69.6	119	98.9	607	22.6	35.6	9.6	43.3	99.8	0.2	9,369	2.8
7	13.4	33.6	108	19.9	48	▲8.4	663	11.6	18.4	41.0	▲ 50.0	100.2	0.8	11,068	▲3.1
8	53.0	12.7	122	13.4	75	35.4	699	22.6	4.8	19.8	191.4	100.5	0.6	9,813	▲ 2.8
9	2.0	2.3	225	26.3	203	250.2	568	▲25.6	21.3	▲ 2.8	▲81.3	101.0	1.1	8,853	0.4
10	50.6	40.0	166	8.9	57	▲ 4.3	630	9.4	16.3	▲ 9.3	91.3	101.0	1.1	9,798	▲0.5
11	25.0	33.8	78	▲ 12.1	59	▲ 27.1	799	26.4	19.7	80.7	▲32.5	101.1	1.8	10,321	0.7
12	18.4	7.5	110	▲31.8	68	11.4	621	▲0.6	41.4	▲26.9	▲28.2	101.0	1.7	13,921	3.2
2014. 1	15.9	38.3	68	▲32.6	38	▲ 12.9	450	▲38.7	▲ 11.5	▲36.3	▲83.0	100.8	1.6	10,293	▲ 4.3
2	1.4	20.9	46	▲ 57.8	31	▲38.9	636	40.7	14.0	160.4	▲ 66.7	101.0	1.9	8,865	▲ 1.5
3	▲3.4	9.6	106	▲38.3	55	45.4	394	▲ 9.6	▲ 6.3	10.9	▲25.5	101.2	1.8	12,181	18.7
4	▲37.8	▲ 5.4	219	▲ 15.4	47	▲ 74.4	635	6.0	8.4	10.9	▲15.6	103.4	3.7	8,339	▲8.5
5	▲33.4	▲24.7	78	▲42.4	22	▲ 63.3	376	▲39.6	▲35.5	▲40.2	▲40.8	103.7	4.1	9,243	▲ 3.1
出所	財利	务省	西日本建	建設業保証				国土交通省				総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用]車		家	計消費支出 大分	(勤労者世帯) ት市		有効求人	倒雨	全件数	預金列	浅高	貸金殖	影 言
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分別		消費支	出	倍率	1237.	±11×	175127	λ(P)	7. 32.72	λ(P)
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	20,956	▲18.7	15,760	▲12.7	446,998	5.2	320,368	8.9	0.66	66	▲ 7.0	33,559	2.2	21,078	▲0.5
2012年	25,785	23.0	21,346	35.4	464,878	4.0	341,720	6.7	0.73	67	1.5	33,721	0.5	21,245	0.8
2013年	24,796	▲ 3.8	22,690	6.3	448,318	▲ 3.6	342,834	0.3	0.78	58	▲13.4	33,422	▲0.9	21,151	▲0.4
2013. 4	1,595	▲3.6	1,584	▲ 2.8	369,929	▲ 8.8	343,334	▲8.9	0.78	6	▲33.3	34,362	2.1	21,183	1.5
5	1,630	▲ 9.4	1,552	▲13.9	335,041	▲3.4	325,465	▲3.7	0.78	9	12.5	34,131	1.8	21,185	0.9
6	1,813	▲24.1	1,822	▲ 9.4	590,217	▲ 13.9	332,147	19.0	0.79	4	▲ 20.0	34,748	2.4	21,271	1.4
7	2,096	▲22.2	2,297	7.7	533,177	12.2	315,796	▲ 1.9	0.79	6	50.0	34,140	1.7	21,251	1.1
8	1,658	▲ 6.0	1,726	11.4	443,695	8.1	420,884	11.5	0.79	6	20.0	34,402	2.7	21,338	1.8
9	2,512	15.7	2,109	28.4	357,602	▲8.4	314,577	▲ 15.2	0.79	2	▲ 50.0	34,004	1.3	21,341	0.1
10	1,939	21.3	1,554	19.5	440,462	5.6	295,625	▲ 14.9	0.80	5	▲ 16.7	33,936	1.7	21,320	1.4
11	2,195	23.0	1,670	9.9	373,825	▲8.0	315,648	▲ 9.1	0.80	4	33.3	34,315	2.5	21,585	3.1
12	1,962	25.6	1,893	30.2	783,456	▲ 5.1	467,177	24.9	0.81	3	▲40.0	34,726	3.0	21,712	2.2
2014. 1	2,542	31.0	2,316	37.8	378,792	1.1	404,584	24.1	0.81	9	125.0	34,205	2.3	21,590	2.1
2	2,826	19.1	2,484	20.3	370,875	▲ 7.5	324,439	7.7	0.83	5	▲28.6	34,402	2.4	21,654	2.2
3	3,560	15.5	3,074	12.3	344,280	▲ 8.6	360,235	1.1	0.88	1	▲ 50.0	35,169	3.0	21,864	2.4
4	1,561	▲ 2.1	1,707	7.8	338,620	▲8.5	272,294	▲20.7	0.88	3	▲ 50.0	34,960	1.7	21,691	2.4
5	1,605	▲ 1.5	1,606	3.5	312,947	▲ 6.6	305,534	▲ 6.1	0.91	5	▲44.4	35,115	2.9	21,808	2.9
出所	日本自動車販売	協会連合会	全国軽自動車	車協会連合会		総務	省		厚生労働省	東京商	Eリサーチ		日本	眼行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

宮崎 Miyazaki 経済指標

項目				鉱工	業生産指数(2010年=1	00)				鉱工業出		鉱工業在	
<i>F</i> -	総	合	電子	部品	化	学	電気·情	報通信	食料	料品	(2010年	F=100)	(2010年	=100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	97.4	▲ 2.6	78.3	▲ 21.7	104.6	4.6	118.9	18.9	96.5	▲3.5	101.4	1.4	111.4	11.4
2012年	98.2	0.8	70.3	▲10.3	101.6	▲2.9	122.1	2.7	104.3	8.1	102.8	1.4	116.5	4.5
2013年	98.2	0.0	76.0	8.1	94.4	▲ 7.1	131.9	8.0	104.2	▲0.1	105.5	2.6	109.0	▲ 6.4
2013. 4	97.9	0.8	73.9	8.6	88.2	▲ 15.7	127.4	3.5	105.6	3.9	101.7	▲ 1.2	109.3	▲ 7.6
5	97.1	▲0.2	63.5	▲ 11.1	90.8	▲14.8	140.3	19.8	105.0	0.4	102.4	▲2.5	110.0	▲ 7.5
6	95.1	▲2.2	68.2	10.2	89.0	▲ 12.7	132.3	13.3	96.1	▲ 6.9	103.5	▲ 0.6	110.5	▲ 4.4
7	96.8	1.0	71.0	0.3	102.4	▲ 1.2	134.6	12.6	94.3	▲2.3	103.6	0.9	109.6	▲ 5.6
8	101.1	4.2	94.1	39.2	90.1	▲ 15.2	136.0	14.5	106.4	▲ 2.3	106.1	6.5	108.7	▲ 6.6
9	99.9	4.2	81.8	20.1	94.5	▲ 2.8	133.7	22.1	108.0	3.7	111.1	10.4	108.0	▲ 6.8
10	100.2	1.7	82.9	20.9	97.0	▲ 6.8	132.0	9.4	107.2	1.3	105.6	2.3	109.1	▲ 5.7
11	100.3	2.8	78.3	16.1	94.4	11.6	134.9	13.5	108.0	3.1	105.6	1.1	106.0	▲ 6.4
12	101.1	3.8	80.0	11.1	98.6	▲3.7	135.5	12.7	105.3	▲ 1.5	109.5	5.7	105.6	▲ 6.6
2014. 1	100.6	4.6	76.2	5.1	110.3	16.0	131.0	4.4	105.1	▲0.1	101.2	▲2.9	107.0	▲ 4.2
2	101.6	5.5	74.8	6.6	106.3	9.1	127.6	1.6	112.8	6.5	107.4	1.2	110.7	0.1
3	101.0	5.1	76.6	5.4	112.4	18.3	133.2	4.7	103.8	2.8	108.0	2.0	108.4	0.2
4	100.4	2.5	76.9	4.1	107.9	22.4	129.0	1.3	110.6	4.8	97.9	▲3.7	115.3	5.5
5														
出所							宮崎県	統計調査課						

項目	貿	易	公共	工事	建築着工事費			新訓	设住宅着工戸	i数			物価指数 年 = 100)	大型小	売店
	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額	上 尹 貢 (非居		合	it .	持家	貸家	分譲		崎市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	2.4	16.8	1,375	▲ 6.7	622	▲ 5.6	6,076	5.9	9.0	1.4	12.1	99.8	▲0.2	89,145	▲2.5
2012 年	14.2	▲11.9	1,366	▲0.7	520	▲ 16.4	6,754	11.2	0.1	13.8	55.1	99.9	0.1	88,398	▲0.8
2013 年	22.1	0.6	1,695	24.2	735	41.2	7,869	16.5	16.6	14.7	30.9	100.1	0.2	87,717	▲0.8
2013. 4	24.6	18.1	141	12.4	117	228.7	673	18.3	12.0	▲22.6	353.8	99.8	▲0.9	6,938	▲3.6
5	28.6	▲ 4.9	221	175.1	78	205.1	751	10.4	27.3	33.0	▲ 38.5	99.7	▲0.5	7,068	▲0.9
6	46.4	29.3	152	19.4	84	230.9	460	▲8.7	▲9.2	▲ 9.5	▲ 5.4	99.7	0.1	6,824	1.5
7	10.6	▲26.7	159	28.8	54	14.5	587	▲0.8	16.1	4.5	21.3	99.8	0.3	7,841	0.1
8	11.6	▲ 26.8	168	48.6	70	4.4	705	33.3	27.1	51.2	▲ 28.6	100.4	0.6	7,117	▲ 5.1
9	24.1	▲0.6	210	73.8	41	▲ 50.9	854	53.6	26.2	52.0	310.0	100.8	0.7	6,226	▲2.8
10	17.4	32.6	159	▲ 4.7	84	65.3	859	25.0	8.4	8.4	346.2	100.7	0.7	6,916	▲0.9
11	30.7	26.6	91	▲8.2	50	9.2	840	25.0	21.9	2.6	198.0	100.6	1.3	7,389	0.7
12	12.1	▲ 13.6	77	▲14.2	63	19.7	632	7.5	31.6	5.4	▲ 66.7	100.9	1.4	9,916	2.9
2014. 1	17.1	14.0	64	▲ 42.6	43	112.9	592	1.0	2.3	▲21.3	112.3	100.8	0.9	7,099	▲ 10.6
2	24.7	5.3	107	45.2	39	▲ 17.8	610	35.6	36.4	▲ 15.0	200.0	100.6	1.1	6,099	▲2.9
3	8.5	▲0.7	135	3.3	34	38.5	401	▲ 15.0	▲29.4	2.0	▲ 11.1	101.2	1.5	8,344	15.0
4	8.9	31.3	161	13.6	49	▲ 58.0	485	▲27.9	▲8.6	▲ 10.6	▲ 79.7	103.0	3.2	6,211	▲ 10.5
5	▲ 1.6	25.4	95	▲ 56.9	54	▲30.6	615	▲18.1	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 50.0	103.0	3.3	6,705	▲ 5.1
出所	財務	务省	西日本建	設業保証				国土交通省	•			総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用	車		家	計消費支出	(勤労者世帯)		有効求人	柳	全件数	預金列	建立	貸金列	建立
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分所		消費支	出	倍率	(E)	±ITXX	7只亚7	XIPJ	吴亚/	지미
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	18,199	▲22.9	14,632	▲14.3	374,940	1.3	287,889	▲4.4	0.58	57	▲ 12.3	25,446	2.4	17,771	3.0
2012年	23,989	31.8	20,879	42.7	326,592	▲ 12.9	263,379	▲8.5	0.69	68	19.3	25,954	2.0	18,421	3.7
2013年	21,773	▲ 9.2	21,911	4.9	367,510	12.5	293,817	11.6	0.77	38	▲44.1	27,246	5.0	19,859	7.8
2013. 4	1,532	▲ 4.5	1,589	▲ 6.0	309,452	17.0	275,320	1.2	0.72	2	▲ 66.7	26,597	2.7	18,425	4.6
5	1,568	▲ 11.3	1,564	▲ 9.8	256,396	21.1	263,379	1.3	0.74	3	▲ 50.0	26,507	3.5	18,501	5.0
6	1,707	▲23.3	1,982	1.1	632,908	29.8	281,275	15.5	0.75	3	0.0	26,829	3.1	18,623	5.1
7	1,899	▲25.0	1,944	▲3.6	320,275	5.1	255,704	▲0.5	0.79	5	66.7	26,605	3.4	18,761	5.7
8	1,471	▲ 12.3	1,676	5.8	344,645	21.9	280,700	22.5	0.80	4	▲ 42.9	26,748	4.2	18,886	6.3
9	2,039	9.4	1,976	17.7	312,337	10.4	278,466	▲ 1.4	0.81	1	▲ 75.0	26,694	3.7	19,063	4.4
10	1,801	17.7	1,470	3.8	359,027	11.0	309,503	7.0	0.82	8	▲ 42.9	26,550	4.4	19,028	7.1
11	1,876	16.1	1,718	20.1	288,292	▲ 5.5	324,853	9.2	0.83	2	▲ 50.0	26,762	5.1	19,410	7.4
12	1,568	19.3	1,933	29.0	687,132	6.0	425,628	43.9	0.84	1	0.0	27,246	5.0	19,859	7.8
2014. 1	2,280	32.6	2,207	30.2	296,700	4.4	334,414	17.0	0.85	3	▲ 50.0	27,143	5.6	19,764	8.0
2	2,503	27.4	2,520	29.2	341,810	7.1	268,628	15.8	0.88	7	600.0	27,271	5.7	19,849	8.2
3	3,233	23.1	2,781	15.2	253,869	▲ 14.3	308,123	▲ 1.6	0.89	7	250.0	27,656	4.5	20,265	8.5
4	1,327	▲13.4	1,681	5.8	302,569	▲2.2	253,488	▲ 7.9	0.92	2	0.0	28,004	5.3	20,001	8.6
5	1,434	▲8.5	1,447	▲ 7.5	275,034	7.3	292,638	11.1	0.94	2	▲33.3	28,114	6.1	20,170	9.0
出所	日本自動車販売	動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会			•	総務	務省	•	厚生労働省	東京商	Eリサーチ	•	日本	銀行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

経済指標 鹿児島 Kagoshima

項目				鉱工	業生産指数(2010年=1	00)				鉱工業出		鉱工業在	
4 0	総	合	電気·情	報通信	電子	部品	と・業窯	-石製品	食料	品	(2010 \$	£=100)	(2010年	==100)
年月	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)	季調値	前年比(%)
2011年	92.3	▲ 7.7	82.5	▲ 17.6	81.6	▲18.4	85.6	▲14.4	98.0	▲2.0	95.4	▲ 4.6	116.7	16.7
2012年	88.7	▲3.9	106.1	28.7	61.7	▲24.4	78.3	▲8.5	101.5	3.6	94.2	▲ 1.3	106.4	▲8.8
2013年	87.2	▲ 1.7	115.2	8.6	49.8	▲19.3	89.7	14.5	102.9	1.3	91.4	▲3.0	120.0	12.8
2013. 4	89.2	▲0.8	107.6	18.4	58.4	▲ 17.5	93.7	31.3	106.4	9.0	90.6	▲ 5.5	127.9	11.6
5	88.5	▲ 1.4	133.6	28.8	54.8	▲ 14.4	86.3	15.3	104.1	▲0.8	95.4	1.1	119.6	9.3
6	85.6	▲3.7	122.9	12.0	48.0	▲23.4	86.9	12.7	100.5	▲2.5	89.9	▲ 7.3	114.9	8.1
7	85.7	1.7	133.9	6.9	46.8	▲18.8	82.0	5.1	103.2	4.4	90.5	▲ 0.6	120.6	18.4
8	83.6	▲ 3.6	97.4	▲ 15.9	45.8	▲20.5	83.1	3.2	103.3	▲0.4	89.7	▲ 3.7	120.3	21.4
9	89.7	5.7	137.6	29.0	47.1	▲15.5	84.0	3.6	104.2	2.7	94.0	2.0	123.6	28.1
10	88.0	▲0.1	112.9	19.2	47.0	▲19.4	88.0	3.0	103.5	0.5	88.6	▲2.1	126.5	32.2
11	87.8	▲ 1.5	118.7	11.0	44.5	▲ 21.7	87.3	▲0.9	103.3	▲0.4	93.7	1.4	118.8	16.7
12	90.5	2.5	93.3	▲21.0	46.7	▲14.1	100.4	5.1	105.6	4.1	91.6	1.3	127.1	20.8
2014. 1	91.8	5.5	94.4	▲14.7	45.4	▲ 13.5	101.8	6.1	106.0	7.2	96.1	5.6	126.5	17.5
2	92.2	8.7	102.9	▲ 6.5	46.9	▲ 12.1	99.1	2.3	106.9	9.2	95.3	5.0	133.4	14.0
3	87.4	2.1	84.8	▲23.3	49.0	▲10.9	90.0	▲ 3.5	105.9	4.3	94.4	3.7	127.7	10.0
4	86.9	▲2.5	103.2	▲ 4.1	47.3	▲19.0	88.1	▲ 6.0	107.5	1.0	85.3	▲ 5.9	140.7	10.0
5														
出所							鹿児島県	具統計調査課						

項目	貿	易	公共		建築着工事費			新設	设住宅着工戸	数			物価指数 年 = 100)	大型小	
4 1	輸出金額	輸入金額	保証請	負金額	(非居		合	Ħ	持家	貸家	分譲		島市	販売	額
年月	前年比(%)	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)	戸	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	指数	前年比(%)	百万円	前年比(%)
2011年	51.4	7.5	2,006	▲ 7.8	932	13.5	9,039	4.3	6.0	▲ 7.0	56.0	99.7	▲0.3	164,957	2.0
2012年	▲25.7	▲ 5.2	2,376	18.4	1,063	14.0	9,701	7.3	▲3.0	21.8	1.8	99.3	▲0.4	162,863	▲ 1.3
2013年	81.1	21.6	2,494	5.0	1,075	1.1	11,307	16.6	20.2	17.5	1.4	99.4	0.1	162,842	▲0.0
2013. 4	124.8	14.0	156	65.1	58	▲26.4	1,138	57.8	12.0	150.6	30.0	99.0	▲0.8	12,803	▲2.4
5	124.3	18.3	153	45.9	57	▲18.9	644	▲ 12.4	20.5	▲40.6	▲33.8	99.2	▲0.5	13,223	0.6
6	49.7	31.7	205	71.1	214	245.1	904	▲11.8	18.5	▲ 21.1	▲ 31.7	99.3	0.2	12,544	5.9
7	▲ 7.8	10.8	207	0.7	91	7.1	958	17.1	15.5	35.5	▲ 9.9	99.5	0.5	14,612	▲2.3
8	14.4	35.3	285	0.5	81	72.1	993	8.1	38.8	▲26.4	27.4	99.8	0.8	13,092	▲0.7
9	0.5	10.8	295	▲11.2	71	15.2	1,119	24.9	37.7	17.4	1.4	100.0	0.8	11,933	1.2
10	▲25.3	76.3	244	▲ 21.7	69	▲ 41.3	1,038	39.3	11.7	64.7	247.5	100.1	0.9	13,402	▲0.1
11	▲ 7.1	46.2	197	6.5	59	▲ 66.9	1,026	22.4	27.1	26.7	▲ 25.0	100.0	1.0	14,246	▲0.8
12	▲ 7.4	77.1	192	0.8	104	6.7	1,171	13.1	23.1	27.3	▲ 52.0	100.1	1.3	19,019	▲0.2
2014. 1	▲ 77.3	24.3	160	48.4	45	▲ 50.1	549	▲18.2	▲8.6	▲36.7	24.5	99.9	1.3	12,885	▲3.0
2	▲ 79.7	0.1	91	▲37.8	87	▲8.5	918	6.0	12.1	1.0	▲ 12.5	99.6	1.3	11,097	▲ 1.7
3	▲ 5.2	▲ 7.8	228	▲ 25.4	108	27.1	823	5.6	▲ 6.8	▲ 4.8	183.9	100.1	1.1	15,817	18.1
4	▲30.7	17.2	168	7.7	86	48.6	747	▲34.4	▲28.7	▲40.4	▲26.9	101.8	2.8	11,530	▲9.9
5	▲24.8	▲ 17.5	192	25.4	60	5.3	666	3.4	▲ 19.1	28.6	94.1	102.1	3.0	12,858	▲2.7
出所	財利	务省	西日本建	設業保証				国土交通省				総	務省	九州経済	産業局

項目		乗用	車		家	計消費支出	(勤労者世帯)		有効求人	Æ I Z	全件数	預金列	建古	貸金死	准 古
	乗用車新規	登録台数	軽乗用車	販売台数	可処分所		らい 消費支	出	倍率	(±1)/2	主什奴	7只亚7	次向	貝亚7	次 同
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	円	前年比(%)	円	前年比(%)	倍	件	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2011年	25,305	▲20.9	18,618	▲ 15.2	457,131	1.1	312,314	▲ 5.9	0.55	64	0.0	38,496	2.0	27,594	2.3
2012年	32,261	27.5	26,228	40.9	438,338	▲ 4.1	331,023	6.0	0.65	72	12.5	39,277	2.0	28,174	2.1
2013年	30,442	▲ 5.6	27,432	4.6	465,539	6.2	338,203	2.2	0.71	76	5.6	41,032	4.5	29,574	5.0
2013. 4	1,984	▲ 4.8	1,973	▲2.0	469,068	13.3	405,509	20.8	0.71	4	▲20.0	40,419	0.7	27,963	2.0
5	1,974	▲11.8	1,968	▲11.0	321,187	2.6	326,159	2.3	0.71	8	60.0	39,982	1.5	28,124	2.8
6	2,200	▲22.5	2,114	▲ 14.2	618,940	▲0.1	271,882	▲ 14.0	0.73	7	16.7	40,655	2.9	28,382	3.6
7	2,470	▲30.3	2,572	▲ 4.8	537,812	19.4	400,229	33.2	0.74	17	750.0	40,152	3.5	28,559	3.9
8	2,048	▲ 6.8	2,093	3.2	455,445	17.4	320,831	▲0.6	0.73	6	▲ 45.5	40,383	4.1	28,602	3.9
9	2,872	16.9	2,564	27.2	374,878	21.4	306,919	▲ 5.1	0.72	3	▲ 57.1	40,260	3.6	28,788	4.2
10	2,443	24.6	1,923	17.7	419,177	13.5	335,265	21.3	0.71	5	▲37.5	40,327	3.9	28,921	4.5
11	2,869	21.2	1,906	5.2	378,148	7.0	331,568	15.2	0.70	4	▲20.0	40,550	4.9	29,163	4.9
12	2,557	20.2	2,156	31.9	821,190	▲ 2.1	370,374	0.4	0.69	7	0.0	41,032	4.5	29,574	5.0
2014. 1	2,905	25.8	2,625	17.6	376,464	0.4	320,040	▲8.7	0.70	8	60.0	40,562	3.9	29,520	5.1
2	3,202	17.5	3,063	24.2	399,773	▲ 5.2	315,925	5.7	0.72	11	83.3	41,025	4.2	29,639	5.5
3	4,428	10.9	3,868	11.6	351,585	▲10.7	427,682	25.6	0.74	7	75.0	41,366	3.6	29,986	6.3
4	1,862	▲ 6.1	1,992	1.0	354,761	▲24.4	331,374	▲18.3	0.75	4	0.0	42,135	4.2	29,894	6.9
5	1,945	▲ 1.5	1,946	▲1.1	335,628	4.5	317,098	▲2.8	0.76	5	▲37.5	41,783	4.5	29,971	6.6
出所	日本自動車販売	日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合			·	総務	省		厚生労働省	東京商	Σリサーチ	•	日本	銀行	

⁽注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

で学ぶ住まいのセミナ



8-9月 特別企画

福岡銀行本店中2階 住まいるギャラリー

各15名

参加無料

住宅資金の基礎知識



水 C-149

6 土

C-150

住宅ローン

諸費用・火災保険

時

間 10:30~12:30

師 福岡銀行 住宅ローン担当者・保険担当者

住宅購入 スムーズに 進める!手順とポイント





水 C-152

水 C-153

時 間 11:00~12:00

師 住まいるギャラリー建築士

やさしいインテリア ディネート入門



※8/27は「コーディネート体験」はありません。



水

水

C-155

C-156

10:30~12:30 %8/27は11:00~12:00

師 住まいるギャラリーインテリアコーディネーター

住まいるギャラリーは、住宅購入や住宅建築・リフォームでの

ちょっとした疑問ゃ不安"を建築士に無料で相談できる窓口です。

セミナーのお申込みは

■ふくぎんホームページアドレス

http://www.fukuokabank.co.jp

福岡銀行のホームページにアクセスし、「セミナー・キャンペーン・イベント」よりお申込みください。

■ふくぎんダイレクトコンサルティングプラザ

受付時間/9:00~20:00(但し、銀行休業日は除きます。 お電話の場合は、上記へ直接お電話いただき、お申込みください。 予約コード(C149など)とテーマをお申し付けください。 〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1

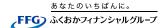
福岡銀行本店中2階 【営業時間】平日/9:00~17:00 土曜/10:00~17:00

※12月31日~1月3日はお休みさせていただきます。 TEL 092-723-2290



■先着順ですので、お早めにお申込みください。■受講票等は送付いたしませんので、ご来場の際は受付にてお名前をお伝えください。■セミナーの受付は開始時間の30分前からとなります。■セミナー開始後 30分経過しますと、受付は終了させていただきます。受付終了後はセミナーにご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。■セミナーの予定は、予告なしに変更する場合がございます。最新の情報は 福岡銀行のホームページをご覧ください。また、自然災害などによりセミナーの内容変更、中断または中止させていただくことがあります。■駐車場については数に限りがございます。公共の交通機関をご利用ください。

◎住まいるギャラリーでは住宅の販売・契約は行っておりません。お客さまにご満足いただける住まいのご提案に努めます。







ふくぎん出張セミナーのご案内



貴社でセミナーを開催してみませんか?

消費税が8%になって、 生活に不安を抱えている 従業員はいないか

従業員の生活を少しでも サポートしてあげたい



社員研修を行いたいが、 なかなか時間がない

> もっと便利にお得に 銀行を利用する方法はないか





福岡銀行では、お客さまのライフステージ(新社会人・結婚・子育て・住宅購入・退職・セカンドライフ等)に 合わせたさまざまなセミナーをラインナップしておりますので、ぜひお気軽にご相談ください。

セミナーテーマ

家計見直し

NISA·資産運用

各種ローン

住宅購入

インターネットを 利用した銀行取引

リフォーム・住み替え

セミナー開催までの流れ



- ① セミナー開催のお申込み
- ② セミナー内容の打ち合わせ ⇒ 貴社のご要望に応じて上記よりテーマを選択
- ③ 開催内容の決定(日程・会場・テーマ・講師など)
- ④ 貴社から社員のみなさまへセミナー開催をご案内
- ⑤ セミナーの開催

(開催後、その場で個別のご相談にも対応いたします)

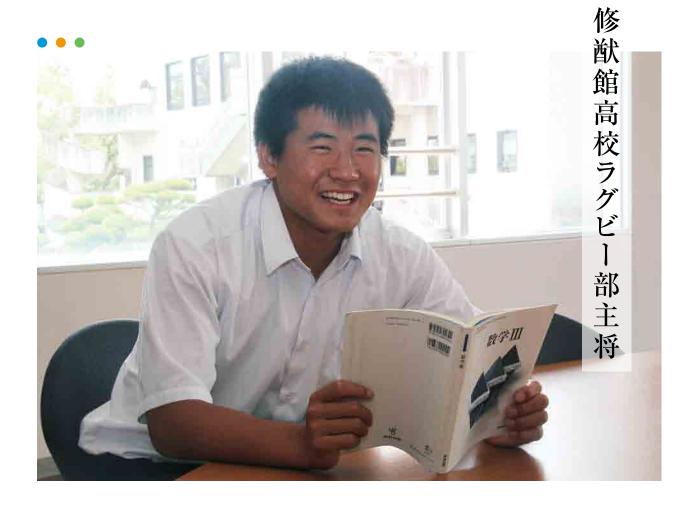


福岡銀行

本案内に記載のセミナーでは、金融商品の勧誘を行うことがあります。金融商品については、市場動向等により投資元本を割り込むおそれがあります。 ご検討にあたっては、各商品の「商品パンフレット」「契約締結前交付書面」および「目論見書」等の書面の内容を十分にお読みください。

「商号等]株式会社 福岡銀行(登録金融機関) 「登録番号]福岡財務支局長(登金)第7号 「加入協会]日本証券業協会





profile

柴尾 將希

SHIBAO MASAKI

Age 18 福岡県立修猷館高校3年 ラグビー部主将



暴れし、花園を目指したい」。 夕暮れに輝く汗が眩しかった。

「最狂の仲間たちとグラウンドで大

"最狂"。



57年ぶりの県大会優勝

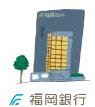
るしかない」。 「東福岡に勝つには、気迫で圧倒す

6月の全九州高校大会福岡県予選

う主将が掲げるチームのスローガンは ティーンは、歴史的勝利を挙げた。 ラグビー大会優勝校)を撃破した。 で優勝。東福岡(今春の全国高校選抜 スクラム最前列で先陣を切って戦 柴尾將希主将率いる修猷館フィフ



ヒマワリ畑 福岡市早良区小笠木地区のヒマワリ畑。7月下旬が見頃。







፟ 熊本銀行

◉ 親和銀行